



「ふれ愛タクシー」が新たに登場しました

ふれ愛号 エリア拡大

3月16日(金)、デマンド交通「ふれ愛号」の運行エリア拡大を記念して出発式が行われました。

昨年3月から運行している西土佐、後川エリアに富山、蕨岡エリアおよび岩田地区の一部が新たに加わり、乗合タクシー(ふれ愛タクシー)2台、乗合ワゴン(ふれ愛号)1台を追加整備しました。

市役所で行われた出発式には、富山、蕨岡地区の住民代表や交通事業者など約20人が出席。

テープカットのあと、住民らに乗せた「ふれ愛タクシー」「ふれ愛号」が新しい運行エリアに向け出発しました。

■ 今月の主な内容

- ▼ 急こう 津波避難計画策定 3
- ▼ 住宅の耐震化補助します 3
- ▼ 市役所玄関ロビー 改修完了 4
- ▼ 地域おこし協力隊募集 5
- ▼ 特集 いのちを守る 平成24年度当初予算 8
- ▼ 西土佐地域の新庁舎建設 12
- ▼ 市民病院新任医師紹介 18
- ▼ 脳ドック検診費用助成 18



1年に1度は健診を
～健康は自分で～

保健カレンダー

4



教室・学習会

相談

献血

月 日	事業名	該当地区	時 間	場 所
4月16日(月)	定例健康相談		9:00～11:00	西土佐分署横
4月17日(火)	乳幼児(赤ちゃん)相談 ママタッチ教室 離乳食相談		9:30～11:00 13:00～14:30 9:30～11:00 13:00～14:30	健康管理センター 健康管理センター 健康管理センター
4月19日(木)	胃がん検診 医師による子育て相談【要予約】	東山	8:00～10:30 9:00～12:00 13:00～17:00	安並スポーツセンター 市役所 保健介護課
4月20日(金)	胃がん検診	東山	8:00～10:30	古津賀ふれあい会館 注1
4月24日(火)	胸部レントゲン(肺がん検診)	八束	個別通知	八束地区
4月25日(水)	胃がん検診 ママ&チルドレン 乳児健診	東中筋	8:00～10:00 10:00～11:30 12:50～13:30	JA中村西部事業所 具同体育センター 健康管理センター
4月26日(木)	乳児・1歳6ヵ月児・3歳児健診		受付 13:30～	西土佐保健センター
4月27日(金)	1歳9ヵ月児健診		12:50～13:30	健康管理センター
5月2日(水)	胸部レントゲン(肺がん検診) 特定健診(生活習慣病健診) 注2	中筋 中筋	個別通知 9:30～10:30 13:30～14:30	中筋地区 中筋小学校
5月7日(月)	定例健康相談		9:00～11:00	西土佐分署横
5月9日(水)	出張健康相談 胸部レントゲン(肺がん検診) ママ&チルドレン	東山	9:00～11:00 個別通知 10:00～11:30	JA高知はた西土佐支所 東山地区 具同体育センター
5月11日(金)	3歳児健診		12:50～13:30	健康管理センター

注1) 古津賀ふれあい会館は、「平和な湯」の北側です。

注2) 特定健診(生活習慣病健診)は、40歳以上の国保加入者で受診票又は受診券を送付している人および40歳以上の協会けんぽ等加入の被扶養者で市に事前に予約済みの人が対象です。
※4月14日までの計画については、広報四万十3月号に掲載しています。

【問い合わせ先】(本庁)保健介護課 ☎(34)1115 (総合支所)保健課 ☎(52)1132



4月から各種がん検診や 特定健診が始まります

■各種がん検診(肺がん、胃がん、大腸がん、前立腺がん、乳がん)

・集団検診により実施します。(がん検診推進事業を除く)
・がん検診ごとに対象者の性別や年齢等が異なります。

・事前申込のあった人に対して、地区ごとに集団検診の実施時期にあわせて、おおむね2週間前に受診票を個人通知します。

※市では、今後も検診日程により受診可能ながん検診については、随時申込を受付けます。(やむを得ない事情などがある場合は、電話での申込もできます)

■がん検診推進事業(子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診)

・対象は平成24年4月1日現在で左記の年齢の該当者

子宮頸がん：20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の女性

乳がん：40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の女性
大腸がん：40歳、45歳、50歳、55歳、60歳
対象者には後日無料クーポン券を送付します。

(子宮頸がん・乳がん：6月頃、大腸がん：10月頃)

※無料クーポン券が届く前に子宮頸がん・乳がん検診を受診予定の人は下記まで連絡してください。

子宮頸がん・乳がん検診は集団検診のほか、一部の医療機関等での受診も可能です。

■特定健康診査(生活習慣病健診)

・市では、4月1日以降継続して国保に加入している40歳から74歳までの人を対象に、集団健診および個別健診(医療機関での受診)により特定健診を実施します。

・対象者には、地区ごとに集団健診の実施時期にあわせて、受診券を個人通知します。(申込不要)

・集団健診の日程以前に個別健診や人間ドックの受診を希望する人は、下記まで連絡してください。(個別健診では、予約により医療機関の診療日・診療時間内に受診できます。また、一部の人間ドック実施機関では、特定健診受診券を使用することにより人間ドックをお安く受診することができます)

・平成24年度は、集団健診、個別健診ともに(国保に加入している)全ての対象者の健診料が無料になります。

・特定健診の受診結果により、生活習慣の改善が必要な人については、保健師・管理栄養士などが無料で生活習慣の改善を支援します。(特定保健指導)
◇検診(健診)などの日程(事業予定計画)については、市広報の保健カレンダーや、広報4月号と同時配布する保健衛生事業計画表をご覧ください。

【相談窓口】

(本庁)保健介護課 ☎(34)1115
(総合支所)保健課 ☎(52)1132

急ごう 津波避難計画策定 下田・八東地区

3月12日(月)、13日(火)、下田地区と八東地区で津波避難計画策定ワークショップを開催しました。

市からは、市長をはじめ、総務課職員、消防署員が出向き、2日間で21地区、自主防災会代表者、区長、消防団員ら約60人が参加しました。

南海地震に備えて、各地区の避難路や避難場所を見直し、地域ごとの津波避難計画を策定することが目的です。

この日のワークショップでは、今後各地区ごとに行ってもらう作業方法について説明をし、地図を使用して、主な施設や避難場所にシールを貼って、そこに

至る避難路を記入する方法や、避難する際の危険な場所に印をつけ安全に避難できるか考えることなどの作業工程を確認しました。

今後は各地区ごとにワークショップを2回程度開催し、地区の代表者だけでなく、幅広く地区住民を交えた話し合いを行い、検討を加えたうえで、県の被害想定がでる秋ごろには津波避難計画を完成させる予定です。

【問い合わせ先】(市)総務課 防災対策係

☎(35)2044



※ワークショップ：ここでは計画作りの共同作業のことを指す。

住宅の耐震化補助します

市では、住宅の耐震化に要する費用について補助金を交付します。対象となる住宅は昭和56年5月31日までに着工された住宅で、構造(平屋、2階建て)などは問いません。この事業は、診断↓設計↓改修(工事)の順に実施します。なお、木造以外の住宅(鉄骨造、混構造など)も対象になっています。

募集件数	補助対象要件			補助額	概要
木造50件 非木造10件	④その他、市が定めた条件	②県に登録している耐震診断士が診断を行うこと。	①昭和56年5月31日までに着工された住宅	1戸あたり上限3万円	住宅耐震診断費補助事業
		③耐震改修工事後「一応安全なレベル」となる耐震改修設計であること。	①市補助事業による耐震診断の結果「倒壊の可能性があると」診断された住宅	補助率2/3 1戸あたり上限20万円	住宅耐震設計費補助事業
		③耐震改修工事後「一応安全なレベル」に改善されること。	②県に登録している工務店が耐震改修工事を行い、住宅の所有者が選任した耐震診断士が耐震改修工事の現場確認等を実施するもの。	1戸あたり上限90万円	住宅耐震改修費補助事業

※「一応安全なレベル」とは、耐震診断士による精密診断法や構造設計一級建築士等の診断により、安全性が確認されるものです。

募集開始 4月26日(木)

受付時間 8時30分～17時15分(土、日、祝日を除く)

※申し込みが右記の募集件数に達した場合、募集を終了します。

【問い合わせ・申し込み先】(市)総務課 防災対策係 ☎(35)2044

デマンド交通

“ふれ愛号・ふれ愛タクシー” 出発！

昨年3月24日から運行を開始している四万十市デマンド交通「ふれ愛号」の運行エリアを、3月17日(土)から富山、蔵岡地区および岩田地区の一部に拡大し「ふれ愛号・ふれ愛タクシー」として運行を開始しました。

運行開始の前日16日(金)には、拡大運行を記念し、出発式を行いました。

富山、蔵岡地区の代表者をお迎えし、市役所本庁舎前駐車場で、市長からのあいさつ、市長、市議会議員、富山・蔵岡地区の代表者、交通事業者によるテープカットの後、「ふれ愛号・ふれ愛タクシー」が出発し、地元の方に試乗していただきました。



中山間地域では、今後ますます高齢化が進むことが予測されています。高齢者を始め市民の日常生活の足として、安心して利用しやすい交通手段となるよう、運行開始後も評価検証を加えながら取り組みを進めます。

市民の皆さんには、ご利用していただくとともに、ご意見やご感想をお待ちしています。

利用者の声

●東富山エリア 60代男性

ふれ愛タクシーで毎日中村地域の病院に通っている。路線バスからふれ愛タクシーにかわり自宅前まで来てくれることで便利になった。

●西富山エリア 60代女性

ふれ愛号で、週2回中村地域の病院に通い、買い物をして帰っている。路線バスより便利がよく、電話予約も簡単にできる。

【問い合わせ先】

(本 庁)企画広報課 企画調整係

☎(34) 1129

市役所玄関ロビー 改修完了

より多くの皆さまに来ていただき、「地域のデパート」として気軽に利用していただける庁舎となるよう玄関ロビーを衣替えしました。

源流の森へと誘うディスプレイ、静かな森の中の映像やヘッドホンから聞こえる谷川の音は、四万十川下流の町に住むわたしたちこそ上流の森に想いを馳せようというものです。

併せて天然四万十ヒノキの大木の柱(樹齢推定200年)やテーブル、ベンチを配し、来訪者の憩いの場、四万十市らしさを実感できる空間として、皆さまをお迎えします。

なお、この改修には、ふるさと応援寄附金、四万十ロータリークラブ寄附金及び高知県木の香るまちづくり推進事業費補助金等を活用させていただいております。

ご意見箱を設置しました

玄関ロビー脇に四万十ヒノキで作られたご意見箱を4月から設置しました。

市民の皆さまから市政に対するご意見・ご要望をお聞かせいただく手段として、広聴メールと広聴ファックスがありますが、ご意見箱も活用することによってさらにご意見等をお寄せいただきやすくなります。

ご意見箱は、西土佐総合支所玄関ホールにも設置します。

どちらも記入用紙をご意見箱の横に用意していますが、他の用紙でも投書は可能です。



【問い合わせ先】・玄関ロビー(市)総務課 行政管理係
・ご意見箱 (市)企画広報課 広報公聴係

☎(34) 1804
☎(34) 1810

地域おこし協力隊(ふるさと応援隊)募集 都市圏等にお住まいの、イターン、Uターン希望者にお知らせください

四十万十市では市外の都市地域(条件不利地域を含まない都市地域)に住民票がある人で、本市の中山間地域の活性化に意欲がある人を、地域おこし協力隊(ふるさと応援隊)として募集します。

■募集人員 非常勤職員3人程度

■応募資格

●住民票が応募時に都市地域等(条件不利地域を含まない市町村)にあり、任命後、本市の中山間地域に住民票を異動させ、そこで生活できる人(集落は市で決めます)
※高知県内で都市地域等に該当する市町村は土佐市と日高村のみです。

●平成24年4月1日現在、20歳～65歳までの人

●協力隊終了後も本市の中山間地域に定住する意思のある人

●土、日および祝日の勤務、夜間の会合参加など、不規則な勤務に対応できる人

■活動内容

●地域活性化に励む、集落および団体等への協力活動

●市が取り組む、地域づくり支援職員や集落再生事業のサポート

●集落活動センター(支え合いの仕組みづくり)設置への協力

●その他、中山間地域の地域振興に資する活動

■雇用期間

平成24年8月1日～平成25年3月31日
(それ以降は年度ごとの再任とし、最長3年間)

■報酬等

月額156,000円～166,300円
(通勤手当込み)
※社会保険に加入します。

■勤務時間

1日7時間15分の週4日間勤務

■応募手続

●受付期間

5月9日(水)必着

※郵送で受付。提出した書類は返却しません。

●提出書類

①履歴書(市販のもので可、写真添付)簡単な応募動機(別紙可で氏名記入)

②作文・題名「四十万十市の地域おこし協力隊として活かしたい私の能力」(A4サイズで書式自由、1千文字程度、パソコン可、住所氏名を記入)

●採用まで

■採用まで

●1次審査：書類選考(5月下旬)

●2次審査：面接(6月中旬)

●最終結果報告：6月下旬

■問い合わせ・申込先

※詳しい内容は市のホームページに掲載しています。

〒787-1601

四十万十市西土佐江川崎2445-2

四十万十市西土佐総合支所

地域企画課地域振興係

☎0880(52)1111

Email: tiki@city.shimanto.lg.jp

地域集落再生事業 モデル地区(西土佐中組) 地域資源(ふわふわとうふ)を活用した取り組み

市では、潜在する地域資源等を活かした地域活性化に取り組む集落を支援する「地域集落再生事業」を、昨年度から行ってきました。
モデル地区である中組地区の地域資源として発掘された「ふわふわとうふ」についての取り組みを紹介합니다。

■外販研修

2月21日(火)、愛媛県松山市の大道商店街で、四十万十の山間屋「山間屋」の協力のもと、約170人にふわふわとうふの試食配布を行いました。

試食した人の約60%からアンケートを回収し、そのうちの約95%から「美味しい」と回答がありました。



ふわふわ、おいしいですよ～

■とうふづくり体験交流会

2月29日(水)、地域づくりを実践している黒潮町の「であいの里蜷川」グループを招いて、初めての体験交流会を実施しました。

石臼で大豆を挽き、大きな釜でつくるふわふわとうふには、蜷川の皆さんも興味津々で、「今後もうふづくりを交流体験としてぜひ実施してください」と激励まで受けました。

交流人口の増加につなげるために、今後このような活動を展開していく予定です。



ひとつつながる体験交流

■問い合わせ先

(総合支所)地域企画課 地域振興係

☎(52)1111

チャレンジショップ TJBがオープン

天神橋商店街の空き店舗を活用したチャレンジショップTJB（ティ・ジェイ・ビー）が3月1日にオープンし、翌2日に記念式典が行われました。



チャレンジショップとは、一定期間お店を開業し、経営のノウハウ等を習得してもらう店舗です。新しくお店を持ちたいと考えている人や、現在のお店の業種や業態を変えてみたいと考えている人が、お試し期間として半年間（最長1年間）営業し、チャレンジ終了後は商店街内で新規創業を目指していただきます。

店内は3店舗が経営できるように区切られており、まずは2店が開業しました。残る1店舗については引き続きチャレンジヤーを募集していますので左記までお問い合わせください。

場 所 中村天神橋54（旧大丸ワールドサロン）
営業時間 10時～19時
定休日 水曜日

【問い合わせ先】
チャレンジショップTJB事務局
天神橋商店街振興組合（担当：田中・深瀬）
☎（35）2019

環境保全型

農業直接支払交付金

市では環境保全効果の高い営農活動の取り組みに支援を行います。

支援の対象者

市内にほ場があり、販売を目的とした生産を行う農業者や共同販売経理を行う集落営農、農業者グループ

支援の対象となる取り組み

（1）、（2）のいずれかの取り組みが必要です。

（1）県が定めている5割低減への取り組み、エコファーマーの認定のほか次の①～③いずれかの取り組みが必要。

①カバークロップ（緑肥等）の作付

5割低減の取り組みを行う作物の前後で緑肥（レンゲや菜の花）等の作付

②リビングマルチまたは草生栽培

リビングマルチ：5割低減の取り組みを行う作物の畝間へ麦類、牧草等の作付
草 生 栽 培：5割低減の取り組みを行う園地に麦類、牧草等の作付

③冬期湛水管理

冬期の水田に2ヶ月以上水を張る取り組み

（2）有機農業の取り組み

補助金額

取組面積10a当たり最大8千円

申請期間

4月2日（月）～6月29日（金）

【問い合わせ先】

（市）農業課 農業振興係 ☎（34）1117

平成24年度 農業者戸別所得補償制度の受付が始まります

■農業者戸別所得補償とは

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るものです。交付金は作付面積に応じて支払われます。

■対象者および主な対象作物

- ・生産数量目標の範囲内で主食用米を生産販売する農業者。
- ・水田で飼料用米、米粉用米、地域の振興作物等を生産販売する農業者。

■受付日程

日 程	受付時間	受付場所	対象地区
5月7日（月）	1回目：14時～ 2回目：18時～	四万十農園あぐりっこ会議室（竹島4294-1）	下田・八束地区
8日（火）		JA高知はた中村北部出張所2階会議室（岩田3）	後川・大川筋地区
9日（水）		JA高知はた中村東部出張所2階会議室（蕨岡甲314）	富山・蕨岡地区
10日（木）		JA高知はた中村西部出張所2階会議室（国見581）	中筋・東中筋地区
11日（金）		JA高知はた本所3階中ホール（右山五月町7-40）	東山・具同・中村
13日（日）			全地域

【問い合わせ先】 高知地域センター ☎088（875）2151
（本庁）農業課 ☎（34）1117 （総合支所）産業建設課 ☎（52）1111

住宅用太陽光発電システム設置費補助

地球温暖化防止への取り組みとして、新エネルギーの導入を推進します。

■補助対象者

- ・自らが居住する市内の住宅にシステムを設置する人
 - ・自らが居住するために市内のシステム付き新築住宅を購入する人
- ※ただし、自らが電力会社と電灯契約を結ぶことができる人で、市税の滞納がない人など条件があります。

■補助金額

出力1kwあたり3万円(上限12万円)
予算額は580万円

※四万十市産材利用促進事業補助金確定者には補助金額の上乗せ等があります。詳しくは左記までお問い合わせください。



■申請方法

申請書に必要な書類を添付して(市)環境生活課まで提出してください。先着順にて受付します。
申請書は市ホームページからダウンロードするか、(市)環境生活課まで取りに来てください。

生ごみ処理機、紙用シュレッダー購入費補助

ごみ減量、リサイクルを推進します。

■補助対象者

四万十市民もしくは四万十市内の事業者

■対象機器および補助金額

- ・電気式生ごみ処理機
3万円以上の機器に対して1/2補助(上限3万円)
- ・生ごみ堆肥化容器
5千円以上の容器に対して1/2補助(上限5千円)
- ・紙用シュレッダー
1万円以上の機器に対して一律5千円

※購入は四万十市内の店舗に限りです。

生ごみ堆肥化容器



平成24年度から新たに補助を開始します。

■受付開始

4月16日(月)8時30分から受付を始めます。
申請は、工事を開始する前、または機器を購入する前になります。事後申請では補助金が交付できませんのでご注意ください。

■問い合わせ・申請先

(市)環境生活課 ☎(34)6126

レジ袋削減協力店が増えました

四万十市には、レジ袋無料配布中止店舗(レジ袋有料化店舗)とは別に、レジ袋削減協力店があります。協力店とは、レジ袋削減のための声かけ運動などにより、マイバッグを推進している店舗です。

協力店には募金箱を設置し、レジ袋を受け取った人にレジ袋代を任意で募金していただいています。いただいた募金は四万十川清流保全基金に寄付し、こどもの環境学習や環境保全等に活用しています。



■協力店

中村スーパーマーケットアピアさつき店、街の冷蔵庫(京町店、平田店)、マルナカ中村一条店、右山センター、さつき薬局、JAグリーンはた中村店、いちじょこさん市場、中村くらしを見直す会、パンのピノキオ、ドコモショップ四万十東店、スリーエフ中村大橋通店、スリーエフ中村天神橋店、スリーエフ中村東町店、スリーエフ具同バイパス店、スリーエフ古津賀西店、スリーエフ中村竹島店、サークルK四万十大橋通店、高畑酒店、ふるさと市場、下村商店、山崎商店、森下酒店、酒井商店、藤原商店、柴商店、佐竹商店、山口商店、岡村酒店、大宮産業

■新規協力店

物産館 サンリバー四万十、A I R有岡店、サンクス(四万十具同バイパス店、中村具同店、四万十古津賀店)、ローソン(四万十古津賀店、四万十インター店)、ホームセンターマルニ四万十店、ホームセンターマルニクエスト古津賀店、ショッピングセンターデイズ

【問い合わせ先】 (市)環境生活課 環境係 ☎(34)6126

いのちを守る

特集

ー平成24年度当初予算 総額308億円ー

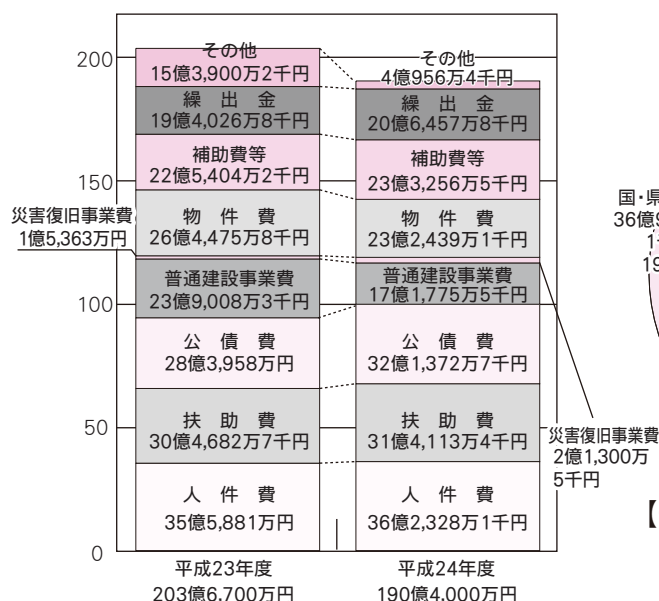
概要

平成24年度当初予算は、市民の「いのちを守る」ために、地域防災力の強化を最重要課題と位置付けるとともに、市民の不安の根源である雇用の確保を意識しながら編成しました。

予算規模は、一般会計で190億4000万円、特別会計（14会計）で105億6536万円、企業会計（2会計）で30億8693万円、各会計間の重複を控除した総額は308億206万円となります。

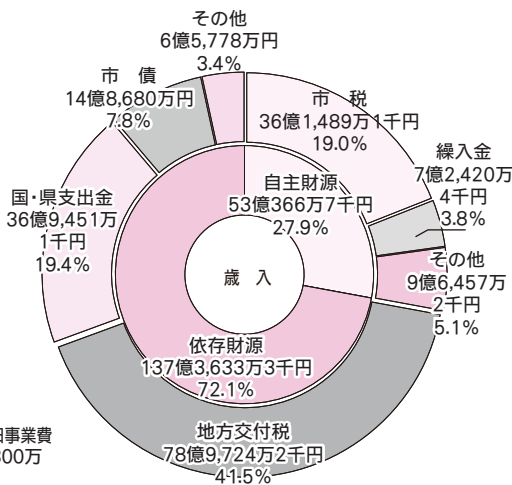
区 分	平成24年度 予 算 額	伸率 (%)
一 般 会 計	190億4,000万円	△ 6.5
特 別 会 計（14会計）	105億6,536万円	0.4
国民健康保険事業勘定	42億6,641万円	3.3
国民健康保険診療施設勘定	2億9,276万円	△ 34.1
奥屋内へき地出張診療所	681万円	△ 31.9
後期高齢者医療	4億8,193万円	9.2
下水道事業	9億1,727万円	△ 14.6
と畜場	3億269万円	15.4
幡多公設地方卸売市場事業	1,940万円	△ 5.5
住宅新築資金等貸付事業	113万円	△ 40.5
鉄道経営助成基金	3億2,198万円	△ 3.3
農業集落排水事業	4,810万円	2.2
幡多中央介護認定審査会	682万円	8.4
介護保険保険事業勘定	33億1,521万円	2.8
園芸作物価格安定事業	2,810万円	0.0
簡易水道事業	5億5,675万円	11.2
企 業 会 計（2会計）	30億8,693万円	4.9
水 道 事 業	7億873万円	9.5
病 院 事 業	23億7,820万円	3.6
合計（各会計間の重複額除く）	308億206万円	△ 4.1

【一般会計歳出（性質別）】

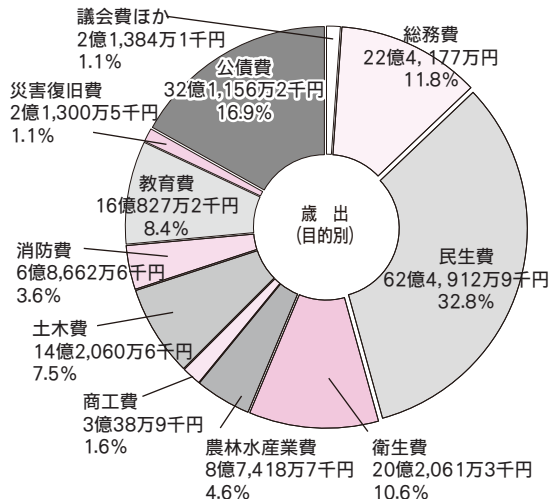


〔解説〕※主な性質別の増減
 普通建設事業費：川崎小増築等
 △4億7,983万2千円減
 中村小改築
 △1億3,567万3千円減
 物件費：緊急雇用創出事業
 △4,474万9千円減
 ふるさと雇用再生事業
 △1億9,502万7千円減
 公債費：繰上償還元金 5億2,649万7千円増
 その他：減債基金積立金(庁舎建設基金廃止分)
 △12億1,435万7千円減

【一般会計歳入】



【一般会計歳出（目的別）】



■一般会計
 一般会計は前年度比6.5%の減となりましたが、前年度は、庁舎建設基金廃止分の積立金を計上しており、それを除くと0.6%の若干の減です。
 普通建設事業は、川崎小学校増築等の事業完了などにより前年度比28.1%の大幅な減となりましたが、中村小学校の校舎改築工事や小中学校3校の校舎耐震補強工事を平成23年度に前倒し分も加え、実質的には14.4%の増となり、事業量の確保とともに、地震・津波対策の強化を図ることとしています。

安心・安全な

四万十市をめざして

次の6項目の方向性に基づいて、必要な各種施策に優先的に財源を配分しました。項目ごとの主な事業を紹介します。

※【新】は今年度新規の事業となります

災害に強いまちづくりー地域防災

地震津波対策事業【3477万2千円】
津波避難路の整備や津波避難計画の作成など、津波から市民の命を守る対策を進めます。



津波避難路(初崎)

地域防災体制整備【999万7千円】

地震災害に強い組織をつくる対策として、自主防災組織の活動支援や体制強化、消防団の資機材の購入などを行います。

住宅耐震診断・耐震改修・ブロック塀耐震対策助成事業【3595万円】

建物の倒壊から市民の命を守る対策として、住宅の耐震診断・耐震改修、ブロック塀の耐震化への助成を行います。

学校施設・保育施設耐震化

【4379万6千円】

西土佐中学校校舎の耐震補強設計、下田・八束・蔵岡中学校体育館改築の実施設計のほか、具同・中筋保育所、子育て支援センターの耐震診断を行い、公共施設の耐震化を推進します。

【新】IP告知屋外放送システム整備

【2792万3千円】

西土佐地域で、屋外でも行政情報や防災情報が聞き取れるようにIP告知屋外放送システムの整備を行います。

住みよいまちづくりー環境・基盤整備

ふるさと暮らし支援事業

【2900万円】

地域の活性化と住みよい環境整備を図ることを目的に、地域が実施する集会所や生活道、農林道整備等に対して助成を行います。

中山間地域生活支援事業

【7571万6千円】

三里地区の水道施設の整備に対する支援を行います。

デマンド交通運行【4270万2千円】

本年度より富山・蔵岡地区へ運行エリアを拡大し、市役所への乗り入れなど利便性の向上も図ります。

住宅用太陽光発電システム設置整備

【580万円】

地球温暖化防止対策の一環として、一般家庭への設置普及を目的とした補助制度です。本年度は補助枠の拡大とあわせ、補助メニューの追加も行います。

総合支所・消防分署庁舎建設事業

【1957万4千円】

防災拠点としての機能のほか、市民が気軽に訪れられるような庁舎の建設を進めます。

活力あるまちづくりー雇用・産業振興

緊急雇用創出臨時特例基金事業

【33事業 1億8248万8千円】

短期間の雇用と就業機会を創出します。

※新規の失業者のべ102人雇用予定

ふるさと雇用再生特別基金事業

【2事業 1050万7千円】

継続的な雇用機会を創出します。
※新規の失業者のべ4人雇用予定

【新】産業振興推進ふるさと雇用事業

【13事業 9166万1千円】

23年度で終了する(一部除く)ふるさと雇用再生特別基金事業を継続して支援します。

【新】道の駅情報発信拠点施設整備

【930万5千円】

西土佐地域の農林水産物や加工品、観光資源などの地域資源の販売、情報発信の拠点施設として道の駅を整備します。

【新】大用地域農業水利施設保全整備

【3000万円】

大用地区の用水路の機能保全対策として、管路の布設を行います。

健康長寿のまちづくり

ー保健・医療・福祉

【新】健康・福祉地域推進【2196万6千円】

地域づくり組織を再編し、子どもから高齢者、障害者など全ての市民が住み慣れた地域で生活を継続できる仕組みづくりを行います。

【新】中山間地域介護サービス確保対策事業

【1085万4千円】

中山間地域での介護サービスの充実を目的に事業者への支援を行います。

保健・医療・福祉連携事業【6770万7千円】

口腔ケア事業、脳ドック検診、あつたかふれあいセンター事業などを行います。

絆を結ぶまちづくりー対話と協調

【新】地域おこし協力隊(ふるさと応援隊)

【665万7千円】

中山間地域等での様々な地域活動に従事してもらう「地域おこし協力隊員」を配置します。

ふるさと応援団推進事業【200万円】

ふるさと応援団員の募集を引き続き進めるほか、団員との交流会を開催するなど、団員の輪を広げていきます。

【新】市民意識・主要指標等調査

(総合計画策定準備)【270万9千円】

新たな総合計画策定に向け、市民意識・主要指標等の調査を行います。

誇りをもったまちづくり

ー歴史・文化・教育

【新】いちじょこさん150周年記念事業

【286万円】

全国京都会議の誘致のほか、観光協会や商振連等が主催する伝統行事、中心市街地活性化への取組みを支援します。



藤祭り 公家行列

【新】映像の幅多上映会【200万円】

幡多地域が撮影場所となったたなかしい映画を数作品連続上映します。

【新】天体観測施設改修事業【682万8千円】

老朽化している天体観測施設を改修します。

【新】武道館整備【9875万5千円】

安並運動公園内に平成25年度完成を目指す、武道館の建設に着手します。

平成24年3月市議会定例会

市長施政方針

(要旨)上

いのちを守る

安心・安全な四万十市をめざして

私は市長就任時から「対話と協調」の姿勢を貫き、職員の先頭に立ち積極的に地域に出向き、多くの市民との対話を通じて、「市民の生活や暮らしを守る」ことを最優先にして、市政運営に取り組んできました。

この間、「地域を守る」取り組みとして、中山間地域を中心に「地域づくり支援職員」を配置したことをはじめ、デマンド交通「ふれ愛号」の運行やケーブルテレビの整備、津野川若者住宅の建設などを実現。また、医療費無料化の拡大や不妊治療助成制度の創設、県下で初めての脳ドッグ助成、口腔ケア事業など、保健・医療・福祉に関する諸施策にも取り組み、そうした中で市民病院の経営改善や新たな役割の発揮に向けての努力もしてきました。さらに、農商工連携事業あるいは市産材利用促進、四万十ヒノキのブランド化など地域産業の振興に向けた取り組み、ふるさと応援団員の募集による交流促進事業などのように、新しく蒔いた種が芽吹き始めてきています。

このことは、議員をはじめ市民の皆さん

のご理解とご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

昨年3月11日、マグニチュード9.0という世界最大級の地震による津波被害などにより、多くの尊い命が失われました。本市においても昭和21年の南海地震では、多くの犠牲者を出しました。次の南海地震では一人の犠牲者も出さない覚悟で、昨年度に引き続き、スピード感を持った地震津波対策を打ち出していかなければなりません。

このため24年度は、「いのちを守る」ために「安心・安全な四万十市をめざして」、地域防災力の強化を最重要課題として位置付けるとともに、以下の6つの方向性に基づいて、施策の厳選と重点化を図っていきます。

災害に強いまちづくりー地域防災

【地震津波対策】

24年度は、地震・防災対策関連予算として、昨年度に比べて1億2千万円余りを増額した7億3千万円余りを計上。23年度繰越事業とあわせると総額で約18億9千万円となり、市内の景気対策にもつながるものと期待。

津波避難の鉄則は命を守るために逃げる。避難道の新設や補修に11路線、海抜低地で逃げ場のない八束間崎地区における高台への津波避難道・広場の整備基本計画の策定、津波避難マップの作成、下田、八束地区の防災行政無線整備実施設計、市民ぐるみの津波避難訓練の実施などを計画。津波避難道の整備は3年以内を目標に完了したい。

八束坂本地区では中村宿毛道路への避難できるよう、国土交通省中村河川国道事務所同事務所が道路を整備する。

住宅耐震化助成事業では昨年の3倍の予算(耐震診断60件、設計・改修工事30件、ブロック塀耐震化5件)を計上したほか、保育所等の耐震診断(3施設)、市営住宅の耐震診断と補強設計(9戸)、小中学校校舎の耐震補強工事(3校)、中学校校舎の耐震補強設計(1校)、中学校屋内体育館の改築実施設計(3校)、農業用ため池の安全調査(13ヶ所)などを計画。

自主防災組織の活動を支援し、体制強化を図るために、今年度新たに防災機材の買い足しや避難訓練の実施経費を補助対象に追加。また、女性消防団専用の

消防広報車の配備、市民病院への災害医療医薬品の購入備蓄、土佐くろしお鉄道の鉄道施設緊急地震対策の支援なども計画。西土佐地域では、屋外でも行政情報や防災情報が聞き取れるようにIP告知屋外放送システムの整備、河川洪水時の避難道1路線を宮地地区に計画。

市役所の防災機能の強化として、今年4月から総務課防災対策係に職員1名を増員。南海地震対策課(仮称)については、年内に業務調整や、人員調整、庁内レイアウトの検討を行うなど、来春の設置に向けて準備する。

【学校教育施設の耐震化と整備】

川崎小学校の増築・大規模改造は今年3月末にはすべての工事が完了。中村小学校校舎改築工事は校舎本体の基礎工事が完了し、今年10月の完成に向けて順調に進行。校舎本体の完成後は、引き続き体育館、プールの建設に移る予定。

校舎の耐震化補強工事は、来年度、川登小学校、八束小学校及び大川筋中学校の3校で実施。西土佐中学校は耐震補強設計を行う。体育館の耐震化は、来年度、下田中学校、八束中学校、蔵岡中学校で実施設計を行う。下田中学校は災害用備蓄倉庫を備えるなど地震津波対策も考慮する。

【保育施設の耐震診断】

今年度耐震2次診断をした愛育園、もみじ保育所は耐震性を満たしているとの評価が出た。来年度は、残る具同・中筋



津波避難道(串江)

保育所、子育て支援センターの3施設の診断を実施する。

【命を守る道路網の整備】

四国横断自動車道は25年3月までに窪川まで延伸予定。これに接続する都市計画道路窪川佐賀線も整備が着々と進められている。懸案であった未事業化区間の窪川・金上野間(5.0km)並びに拳ノ川・佐賀間(6.2km)についても、24年度の事業化に向けて国において準備が進められている。佐賀・四万十間については未だ事業化がされていないので、関係機関に対し強く要望していく。

国道441号は、順調に整備が進んでおり、川登工区を24年度末、網代工区を25年度末の供用開始を目指している。残る「西土佐道路(仮称)」についても、24年度から県事業として着手することが決まった。

国道439号は、今年度は維持的予算ではあるが、久々に予算付けされた。国道321号も、山路工区、実崎工区において調査が開始されている。

県道は、有岡川登線の手洗川地区、出口古津賀線の古津賀地区は今年度の完成を目指している。安並佐岡線の佐岡地区、川登中村線の三里地区、西土佐松野線の津賀地区、藪ヶ市松野線の中家地区にも、引き続き重点的に整備を進めていく。

市道は、佐岡下田分岐線、上足川線の工事が今年度で完成。24年度も引き続き、天神橋通線、堤防廻り線、市野々線、藤ノ川線等の整備に取り組む。

【命を守る河川・港湾・海岸】

横瀬川ダムの整備

不破上流工区の堤防事業については順調。下流工区も今年度用地取得を行うとともに一部工事に着手。具同・入田地区では、堤防拡幅事業と併せ市道具同三里線、市道具同・坂本線の改良工事に取り組む。

下田港は港湾改修事業により新航路の防波堤を整備。河口砂州の復元については、高知県において導流堤先端のブロックについて移設工事が完了し、現在、国土交通省の河川掘削に伴う残土の協力も受け、河床復元工事(袋詰玉石、砂・栗石の投入)を行っている。

横瀬川ダム建設事業は、現在は国において検証作業を行っている状況。早期再着手に向け、関係機関に対し強く要望していく。

【水道、公共下水道事業による

防災力の強化

簡易水道では、引き続き鶴ノ江と西部統合並びに大宮統合の整備を進め、新たに口屋内の濁水対策に取り組む。

公共下水道は桜町雨水幹線工事が3月末に完成。八反原ポンプ場施設については、平成24年度、25年度の2か年にて、排水ポンプ1台の増設を計画。汚水対策の角崎地区汚水管敷設工事は25年度初旬に全地区での供用開始を予定。

【防災拠点となる西土佐総合支所と消防

分署の建設】

総合支所の現敷地内に消防分署との合築により、鉄筋コンクリート造2階建て延床面積2千程度の建物を計画。「市民に開かれた庁舎」となるよう市立図書館西土佐分館も併設。来年度、実施設計を行い26年度の上半期中の完成を見込んでいる。

住みよいまちづくりー環境・基盤整備

【地域公共交通】

3月17日から富山、蔵岡地区にデマンド交通「ふれ愛号」と「ふれ愛タクシー」を運行、後川地区ではエリアを拡大。中村まちバスもエリアを拡大する。路線バスも含め市役所へ乗り入れ、1000円刻み運賃(割引)も導入し、利用促進につなげたい。

【消費生活センターの広域化】

宿毛市長からも参加の意思が示され、今年4月から幡多6市町村の住民から申し出のあった専門的な苦情相談や処理のためのあつせんなどは、四万十市消費生活センターが対応することとなった。

【ごみの減量化対策】

22年度の総ごみ排出量は12,838t、リサイクル率10.5%で「一般廃棄物処理基本計画」の目標値を1年前倒しで達成した。24年度からは市指定ごみ袋の形状を「長方形型」から「レジ袋型」へ変

更し、口が結びやすくなり、適正なごみの排出に繋がるものと考えている。

【地球温暖化防止対策】

西土佐小学校及び中村小学校など公共施設へ太陽光発電システムを導入する。また、住宅用太陽光発電システム設置に対する補助事業はメニューを追加し、24年度も継続する。本市は小河川や豊かな森林など再生可能エネルギーに転換可能な多くの資源を有しているの



国道441号 川登工区(24年度開通予定)

以下次号

活力あるまちづくりー雇用・産業振興
健康長寿のまちづくりー保健・医療・福祉
絆を結ぶまちづくりー対話と協調
誇りをもったまちづくりー歴史・文化・教育

西土佐地域の 新庁舎 平成26年度 完成予定

新庁舎建設の必要性

西土佐総合支所庁舎は築後48年（昭和37年度建築）、四万十消防署西土佐分署は築後32年が経過（昭和53年度建築）し、老朽化が激しく、バリアフリー

市では、西土佐総合支所と四万十消防署西土佐分署の新庁舎建設に向けて取り組みを始め、「検討協議会（庁内組織）」や「検討懇談会（市民組織）」などでの検討を重ねてきました。
このたび新庁舎建設の「基本計画」基本設計がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

概要

- 建設位置 現在地
(西土佐江川崎2445番2ほか)
- 敷地面積 約5,300㎡
- 構造 鉄筋コンクリート造2階建
※土石流警戒区域等に位置していることなどから、構造強度上、鉄筋コンクリート造を採用せざるを得ませんでした。内外装の「木質化」を図り、地元産材の利用促進に取り組みます。
- 延床面積 2,076㎡
(図書分館、消防車両車庫含む)
- 駐車場 約55台
- 総事業費 約10億円
【予定額】(設計監理委託、現庁舎等撤去などの経費を含む)
- その他 図書分館は機能の充実を図り、1万冊の開架能力を備えます。
また、省エネルギー対策として、太陽光発電やLED照明の導入を計画しています。

化への対応が遅れていること、組織再編や職員配置への対応が難しく業務効率の低下や執務環境に支障をきたしていること、また、消防分署は洪水時に1階が浸水した経過もあるなど、市民の皆様にとつて利用しやすく安全な施設とは言えず、庁舎機能も十分発揮できない施設となっています。
これらの課題を改善し、行政サービスの向上を図るとともに、周辺と一体となったまちづくりにつながり、地域の防災拠点として十分に機能が発揮できる安全な庁舎の建設が必要です。

新庁舎建設の契機と建設位置

「合併協定書」、「新市建設計画」での位置付けを踏まえながら、「地域審議会」からの意見書の提出、諮問、答申を経て、改築の検討を進めたものです。

建設位置は、現位置で建替える場合と移転する場合を比較検討するとともに、消防分署との合築について検討した結果、現庁舎周辺は、市街地機能が一定集積し、四万十川中流域、広域的な拠点として市北部の中心エリアを形成しており、移転することで中心エリアの衰退に拍車をかけることが懸念されるとともに、周辺の各施設・機能と連携し

基本方針

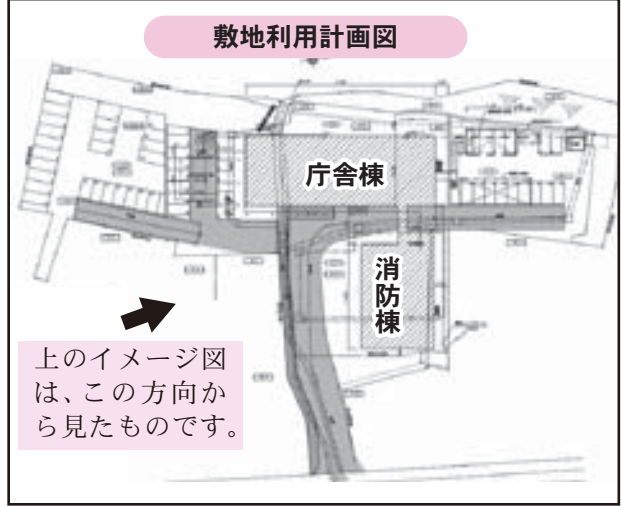
- 市民に開かれた庁舎
- 市民サービスの向上と円滑な業務の執行につながる施設
- 地域の防災拠点としての施設
- 情報化に対応できる施設
- 環境配慮型庁舎（グリーン庁舎）への対応と地元産木材を積極的に活用した施設
- 経済性・耐久性に配慮した施設づくりと維持管理の実践
- 周辺と一体となったまちづくりにつながる施設
- 総合支所の業務・機能の変化に柔軟に対応できる施設
- 消防力の向上に対応できる施設
- 消防職員の居住環境に配慮した施設

たまちづくりへの貢献が期待できることなどから、現位置に建替えることとし、あわせて消防分署を合築することで、より効率的な施設利用と建設コストの節減、防災拠点施設としての機能強化を図ることにしました。



新庁舎イメージ図

- 【庁舎棟】
- 1階
 - ・事務室(260㎡)
 - ・小会議室(40㎡)
 - ・相談室(8㎡)
 - ・大会議室(147㎡)
 - ・書庫、倉庫(109㎡)
 - 2階
 - ・図書分館(165㎡)
 - ・交流スペース(24㎡)
 - ・宿直室(10㎡)など
 - ・小会議室(40㎡)
 - ・休憩室等(40㎡)など
- 【消防棟】
- 1階
 - ・消防車両車庫(193㎡)…分団車庫含む
 - ・受付待機室(8㎡)
 - ・救急洗浄室(9㎡)
 - 2階
 - ・事務室(68㎡)
 - ・食堂(36㎡)
 - ・小会議室兼分団控室(21㎡)
 - ・出動準備室(24㎡)
 - ・倉庫(47㎡)など
 - ・待機室(22㎡)
 - ・仮眠室7室(61㎡)など



実施設計・用地取得	H24.5月頃～10月頃
既存(公民館等)解体・敷地造成工事	H24.11月頃～H25.5月頃
庁舎棟建築工事	H25.5月頃～10月頃
既存(総合支所)解体	H25.12月頃～H26.2月頃
消防棟建築工事	H26.3月頃～H26.7月頃

今後のスケジュール

今年度は、基本設計をもとに詳細の実施設計と進入路市道部分の用地取得を行ったうえで、解体と敷地造成工事に着手する予定です。

建築工事は、25年度から26年度の2カ年にかけて行う予定です。

電子メール n-tyousya@city.shimanto.lg.jp

郵便 〒787-1601

西土佐江川崎2445-2

四万十市西土佐総合支所

地域企画課 支所庁舎建設係

FAX (52)2124

問い合わせ先 (総合支所)

地域企画課 支所庁舎建設係

☎ (52) 1111

ご意見・ご要望は

市民の皆さんからのご意見やご要望をお寄せください。

それぞれのご意見等について個別には回答しませんが、今後、実施設計を行う中で参考とさせていただきます。

基本計画・設計の閲覧について

詳しい内容については、市のホームページに掲載しています。

また、西土佐総合支所市民室および市立図書館でも閲覧できますので、ぜひご覧ください。

口屋内小学校

みんなの思いをアートで表現

口屋内小学校では2学期から、地域のシンボルであり、生活道として一番大切にしている沈下橋が通れず、子どもたちが日々遠回りで登校しています。



▲ドキドキワクワクのミニミニシンポジウム

人がいる場で物怖じせず発表できるのも、普段の授業でいかにきちんと集中して参加できていたかということです。

その後は、子どもたちが小学校に対する思いをペンキで絵に描いて30メートルの絵巻物を完成させる体験学習を行い、最後は全員で校歌を合唱しました。

この活動を通して、子どもたちは地域の人々の沈下橋に対する思いや、大人とのコミュニケーションのとり方を学び、またアーティストの触れ合いを通して、アートにも興味を持てたようです。

そこで、トヨタが行っている、アートの素晴らしさを子どもたちに気づかせるという取り組みを活用し、「子どもたちが考える夢のかけ橋」を校庭に作ってみようということになりました。

3月3日、4日、「くちやないアートプロジェクト」と題したイベント当日は、地域の皆さんはじめ、県内外から約200人の人々が来場しました。

子どもたちも張り切って会場を案内したり、ミニシンポジウムで自分たちの思いをしっかりと伝えることができました。このように大勢の

子どもたちも忙しい毎日でしたが、最後にこのような大きな思い出ができ、笑顔がふれる素敵な2日間となりました。



▲口屋内沈下橋を題材にした「夢のかけはし」完成！

西土佐連合青年団 全国表彰受賞

西土佐連合青年団が日本青年団協議会主催「2011年度全国地域青年「実践大賞」【田澤義鋪賞】」を受賞しました。

「よさこいで東北被災地を元気にしよう!」と、同団事務局長大崎博士さんが県内の青年団や若者に呼びかけ、『高知県青年にぎわいボニート』を結成。仕事の合間を縫って夜間に猛練習を重ね、昨年10月に仙台市で開催された「みちのくYOSAKOI」で華麗なよさこい踊りを披露するとともに、被災地でボランティア活動や地元青年団との交流を行いました。

この意欲的な取り組みが高く評価され、「青年団の父」と称される田澤義鋪さんの名を冠する表彰を受けました。

これまでも地域のカーブミラー磨きや、お年寄りへのおもち配り「愛のもちつき」、成人式の運営や地域イベントへの積極的な参加等を通じて、地域を元気にする活動が続けた西土佐連合青年団。団員は、「今回の受賞を契機に、今こそ、青年団」。若者の力で地域を元気にしたい。」と意気込みを新たにしています。



幻の小学校

市長 田中 全

学校は地域共同体のシンボルであり、その歴史は地域の歴史そのものです。

西土佐地域のすべての小学校は、この3月をもって閉校となり、新設の西土佐小学校として生まれ変わりました。

江川崎村と津大村が合併をして西土佐村が誕生したのが昭和33年（1958年）。当時、小学校は13校、人口8312人でした。いずれの小学校も明治7年から14年までの間に設立されています。

13校の中で一番早く閉校になったのが玖木小学校で昭和44年。以降、中半、昭和63年、奥屋内、平成12年、下家地、同14年、権谷、藤ノ川、同15年、大宮、同23年、と閉校（休校）が続きました。

そして残る6校（本村、川崎、西ケ方、津野川、須崎、口屋内）もついに130有余年の歴史にピリオドを打ちました。誰がこの日を予想していたか。西土佐のいまの人口は3261人です。

閉校式の多くは、地域ぐるみで、全国各地から戻ってきた卒業生も迎えての厳粛かつ盛大なものでした。全員起立し、いよいよ最後の校歌となると、万感の想

いから、みな涙しましたが、その涙は地域として新たなスタートを切る決意の涙でもありました。

西土佐として、忘れてはならない小学校がほかにあります。旧満州につくられた大清溝江川崎国民学校です。

江川崎村は、太平洋戦争下の昭和17年、満州に新しい村をつくる「分村移民」を



大清溝江川崎国民学校寄宿舎跡
（中国吉林省、2010年撮影）

西土佐慰霊訪中団の一員として開拓地を訪ねたさいも、当時のレンガ造りのまま残っており、いまは村の診療所として使われていました。

学校は、昭和20年8月、日本敗戦による脱出で放棄されました。引き揚げのさい、現地人からの襲撃や収容所での飢餓、病気などにより、開拓団の約7割が死亡。児童、子供は大半が犠牲になっています。満州分村は津大村も行なっています。同村の場合、安芸郡、吾川郡などを含む10村連合による大土佐開拓団として団員を送出。現地（吉林省）に設立した飲馬河大土佐国民学校も津大村がつくったことには変わりありませんが、詳しい記録は残っていません。

これら2つの小学校では、もちろん今回のような閉校式もなく、閉校記念誌もつくられていません。「西土佐村史」（昭和43年版、平成21年版）にも記録はなく、わずかに「さいはてのいばら道」（武田邦徳編、昭和61年）に記述をされているだけです。その意味では、幻の小学校です。

しかし、2つの小学校のことは、西土佐の14番目、15番目の小学校として、決して忘れてはなりません。

学校の歴史を知ることが、地域の歴史を学び、未来を考えることであり、ふるさとを愛し、守り続けることです。

口屋内小学校閉校式のフィナーレは、「故郷」の全員合唱でした。

日誌 2月16日～3月15日

2月16日	明日の四国を考える市町村長の会懇談
17日	藤岡小学校3年生との懇談
18日	県西部郵便局長会
19日	とみやま梅の里祭り
21日	土佐中村一條太鼓定期演奏会
22日	田野川乙要望受
23日	幡多広域市町村圏事務組合議会
24日	保育の公的保障を求める大運動との懇談
25日	四国西南地域道路整備促進協議会
26日	国土交通省四国地方整備局要望（高松市）
27日	幡多広域市町村圏事務組合、同国交省
28日	出先機関存続要望
29日	JR四国本社訪問（同）
30日	消防ポンプ自動車入魂式（西土佐分署）
31日	四万十・足摺無限大チャレンジライ
32日	ド・ブレ大会
33日	観光資源掘り起こし市内4地区発表会
34日	市連合婦人大会
35日	田野川甲要望受
36日	当初予算記者発表
37日	高知生協懇談会
38日	地域公共交通活性化協議会総会
39日	みちくさクラブ懇談会
40日	農商工等連携推進支援事業報告会
41日	中村高校、幡多農高卒業式
42日	3月市議会定例会開会（16日）
43日	川崎小学校廃校記念式典
44日	災害時応急生活物資供給協定締結式
45日	市民病院を守る会署名提出受
46日	RKC取材受（市福祉事業）
47日	四万十市観光開き
48日	東京幡多四万十会発起人会（東京）
49日	医師確保業務（高知市）
50日	津波避難計画策定ワークショップ（下田）
51日	市議会教育民生常任委員会
52日	津波避難計画策定ワークショップ（八束）



市教委だより



川登小学校

新記録続出！ 全校なわとび大会

2 1 (水)



▲上手く跳べるかな

そして迎えたなわとび大会本番。八の字連続跳びでは、すごい記録が出ました。Aチーム862回、Bチーム599回、Cチーム1156回。寒い日でしたが、会場は熱気に包まれ、どの顔も満足そうでした。

本校では、毎年2月初めに恒例の「全校なわとび大会」を行っています。ここでは、その中の長縄の部を紹介します。
3学期が始まると、四万十川マラソンに代わって朝なわとびをします。掃除班を中心に、して全校児童32人が3つのグループに分かれて、長縄の八の字跳びと一斉跳びの練習をしました。教職員も入って縄を回し、あちこちから掛け声や歓声が起るなど、みんなが一つになり、笑顔あふれるいい時間が流れました。



▲さあ跳ぶぞ！

昼休みに、上級生が中心になって各グループで長縄の練習をしました。優しい指導で、初めは引つかかっていた1年生も、いつの間にか上手に跳べるようになりました。

八束中学校

あいさつ運動



▲夏の暑い日も、冬の寒い日もがんばっています

あいさつ運動は先輩たちが始めて、今年で8年目になります。あいさつはする方もされる方も、気持ちが良い元氣になります。これからも、みんなであいさつ運動を頑張っていきたいと思っています。

本校では生徒会が中心となって、毎月10日と20日、県道沿いの八束水門付近と四万十川大橋の下の交差点に立つて、あいさつ運動を行っています。
あいさつ運動の日は、登校後、7時15分から横断幕と八束中学校で作成した交通安全を呼びかける旗を持って、立つ場所までみんなで走って行きます。あいさつをする時は、歩行者や車を運転している人に伝わるように、腹の底から声を出し、礼は6度を意識して行っています。



▲おはようございます！

(市)教育委員会 ☎(34)1136 FAX(34)4271 E-mail: school@city.shimanto.lg.jp
西土佐事務所 ☎(52)1110 FAX(52)1446 E-mail: n-school@city.shimanto.lg.jp

ご質問・ご意見をお寄せください

四万十市スポーツ賞表彰式

3月3日(土)、第7回四万十市スポーツ賞表彰式が市立中央公民館で開催されました。

四万十市スポーツ賞は、スポーツの普及振興に顕著な功績をあげた人を表彰するもので、今回は、優秀賞として個人21人、団体5団体、功労賞の個人1人が受賞しました。

表彰式は、受賞者や推薦者、保護者あわせて90人が出席し、ねんりんびつく2011のゲートボール競技で準優勝した、中村クラブの岡山哲雄さんから、受賞者を代表して謝辞がありました。

【優秀賞：個人】

氏 名	種 目	学校・学年(所属)
山崎 立士	陸上	中村南小 6年(宿毛JAC)
坂本 省吾	"	中筋小 6年(")
谷山 夏美	ソフトテニス	具同小 5年(中村ジュニアソフトテニスクラブ)
佐竹 民和	"	大用小 5年(")
秋田 早央里	柔道	中村小 5年(中村柔道スポーツ少年団)
福井 花乃	弓道	県立中村中 3年
西原 琳	陸上	" 2年
池本 有加里	"	" 1年
上岡 和音	"	" 3年
多和 元基	"	中筋中 3年
中山 大翼	ソフトテニス	東中筋中 3年
中平 慎吾	"	" 3年
山本 和弥	"	" 3年
友永 佑夏	陸上	宿毛工高 2年
岡添 大樹	"	" 2年
水野 翔太	"	" 3年
江口 望	"	中村高 2年
池本 愛	"	" 2年
竹中 源	柔道	" 3年
藤田 一生	"	幡多農高 3年
松田 成華	ボート	" 2年



【優秀賞：団体】

団体名	代表者・主将	人 数	種 目
中村ジュニアバレーボールクラブ	福留 玲奈	12人	バレーボール
東中筋中学校男子ソフトテニス部	中山 大翼	12人	ソフトテニス
東中筋中学校女子ソフトテニス部	大塚 美優	12人	"
しまんと	濱田 和子	20人	バレーボール
中村クラブ	岡山 哲雄	5人	ゲートボール

【功労賞：個人】

氏 名	所属等	種 目
山崎 泉	中村クラブ	ゲートボール



ゆず皮たっぷり「ゆず甘酢」

学校給食に登場

3月2日(金)、中村地域の学校給食に「ゆず甘酢」を使った料理が献立のひとつとして提供されました。

この「ゆず甘酢」は、市の農工商等連携事業で支援する4つのプロジェクトの一つで、JA高知はたとマルバンの醤油の連携により生まれた、地域の商品です。

今回お邪魔したのは、東山小学校3年2組のクラス。給食の準備をしている教室に入ると、生徒のみなさんが明るく元気なあいさつと笑顔で出迎えてくれました。

皆さんが食べる前に少しだけ時間をいただき、「ゆず甘酢」についてお話をしました。原料のゆずやしょうが、醤油などは全て市内産のものが使われ、市内で製造されていることなどを説明し、とても真剣に耳を傾けてくれました。

「いただきます」と元気なかけ声とともに、「シヤケの塩焼き、ゆず甘酢風味」の実食！児童からは、「ゆずのええにおいすすごい出ちよる」「魚にかけたときにゆずの黄色がきれいな」といった感想のほか、「焼き魚の塩分とゆず甘酢のすっぱさのバランスがピッタリ」といった、大人なコメントもいただきました。魚の他には何に合うと思う？という先生の質問に対しては、唐揚げやキビナゴのてんぷら、サラダのほか、チョコレートにかけたいという独特な意見もありました。ぜひとも皆さんで色々なアレンジをして、自分なりのレシピをつくっていただきたいと思います。

「ゆず甘酢」の市内での販売店等は、JA高知はたと(34)5555までお問い合わせください。



ゆず甘酢のラベル

市民病院新任医師紹介



内科部長
たかはし 敏也 医師

昨年9月から非常勤で市民病院の外來診療を行っていましたが、関係者の方々から熱心にお誘いいただき、本年4月から常勤医師として勤務させていただきます。

専門は呼吸器疾患やアレルギー疾患ですが、生活習慣病や消化器疾患などの一般的内科疾患の診療も行っていますので、よろしく願いいたします。

【主な履歴】

昭和63年3月 徳島大学医学部医学科卒業
昭和63年4月 徳島大学医学部第三内科入局
平成元年6月 高知県農協総合病院勤務
平成2年4月 国立療養所東高知病院勤務
平成4年4月 国立療養所西香川病院勤務
平成6年7月 平成病院勤務(兵庫県淡路島)
平成7年12月 徳島大学医学部第三内科勤務
平成8年5月 国民健康保険脇町診療所勤務(徳島県)
平成10年7月 室戸中央病院勤務
(所属学会)
日本内科学会、
日本アレルギー学会、
日本呼吸器学会

市民病院

医師診療担当

4月1日より

● 受付: 8時~11時
● 診療時間: 9時~
☎ (34) 2126

		月	火	水	木	金
内 科	午前	初診 矢野昭起	初診 矢野昭起	初診 樋口佑次 (紹介患者のみ)	初診 高橋敏也	再診 樋口佑次
			再診 樋口佑次	初診 高橋敏也	初診 矢野昭起	再診 竹田修司
		再診 樋口佑次	再診 鷺山憲治	再診 矢野昭起	再診 樋口佑次	再診 石井泰則 禁煙外来 (呼吸器外来)
	午後	再診 樋口佑次	再診 鷺山憲治	再診 高橋敏也	再診 樋口佑次	再診 矢野昭起 (最終週は 休診)
		再診 高橋敏也	再診 国立高知 病院医師			
外 科	午前	宇都宮俊介	石井泰則	宇都宮俊介	石井泰則	宇都宮俊介
整形外科	午前	河内 通	坪屋英志	河内 通	坪屋英志	河内 通
脳神経 外 科	午前	伴 昌幸 (川田祥子)	川田祥子 (伴 昌幸)	伴 昌幸 (川田祥子)	川田祥子 (伴 昌幸)	伴 昌幸 (川田祥子)
	午後	急 患 の み				
泌尿器科		休 診				

脳ドック検診費用助成

市では、今年度も市民の皆さんのくも膜下出血や脳梗塞などの脳卒中の疾病予防と早期発見・治療を促進し、健康管理意識の向上と健康増進を図るため、市民病院と連携して、脳ドック検診助成事業を行います。

対象者

市内に住民票があり、平成25年3月31日現在で40歳以上の人(平成24年度末に40歳に到達する人以上の年齢の者が対象)

※年間240人を予定

希望者多数の場合は、昨年度受診した人をお断りすることがあります。

検査内容

問診、MRI(脳断層写真)、MRA(脳動脈瘤などの血管の異常検査)、頸動脈エコー(超音波検査)

※50歳以上の人には早期アルツハイマー型認知症の簡易判定も上記費用内で実施

検診場所

市民病院
※市への助成申請後、市民病院から検診日時連絡があります。

毎週月~金曜日の午後、1日2人まで

※診療の都合で実施できない場合があります。
(1人60分程度)

助成費用 検診費用2万5千円のうち2万円

(自己負担金5千円)

申請時期 4月10日(火)~27日(金)

実施時期 5月中旬頃~平成25年3月下旬

【問い合わせ・申請先】

(市)保健介護課 ☎ (34) 1115



口腔ケア事業

要介護高齢者が安心して健やかな在宅生活を送ることができるよう、市では、今年度も口腔ケアの助成事業（左記利用料金で受けられます）を実施します。いつまでも口から食べることが続けられるように、また、「口腔の乾燥」、「口腔機能の低下」、「誤嚥性肺炎」の予防のため、口腔ケアを受けてみませんか？

口腔ケアとは、歯科医師の指示のもと歯科衛生士が在宅高齢者宅を訪問し、歯および口腔内をきれいにするとともに口腔ケアの知識・技術を家族や介護保険スタッフなどに伝達していきます。また、入れ歯の手入れの仕方や保管管理、清掃方法などについても指導していきます。

対象者

- ・介護保険法に基づき要介護4、5と認定を受けた人
- ・介護保険法に基づき要介護3と認定を受けた人やその他の高齢者で市長が適当と認めた人
- ※右記対象者でも介護保険制度において施設サービスや病院などに入院している人は対象外

利用料金

- ・歯科医師訪問：2000円／1回
- ・歯科衛生士訪問：1000円／1回

実施期間

歯科医師の1回目の診断により期間を定め、最長6ヶ月とします。
(歯科医師2回、歯科衛生士24回が上限)

【問い合わせ先】

(市)保健介護課 ☎(34)1165



子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン 無料接種期間は 平成25年3月31日まで

左記の各種ワクチンについて、現在お持ちの予防票が、平成25年3月31日までそのまま使用できます。

●子宮頸がんワクチン（3回接種）

対象

- ・中学1年生～高校3年生相当の女子
(平成6年4月2日～平成12年4月1日生)
- ・大学1年生および大学2年生相当で平成23年度末までに対象となっていた女子

●ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン (4回接種)

※接種回数は、開始時期により異なります

対象

2ヶ月～5歳未満の乳幼児
(平成24年3月生以降の人には順次通知します)

このワクチンは、予防接種法に定められた定期接種ではなく、接種対象者の保護者の希望により受けていただく任意の予防接種となります。接種を希望する人は、かかりつけ医と相談のうえ、委託医療機関で個別に接種を受けてください。

【問い合わせ先】

(本 庁)保健介護課 ☎(34)1115
(総合支所)保健課 ☎(52)1132



第7回 幡多ふれあい医療公開講座

日時 4月15日(日)

13時開場、13時30分開始

場所 市立中央公民館大ホール

内容

「肺がんの見つけ方とその治療」
石井 泰則(四万十市民病院 外科部長)
肺がんは増加傾向にあり、がん死亡原因の上位になっています。肺がんの早期発見とその治療方法について、一般の人にわかりやすく説明します。

「知っていただきたい胃がんのはなし」

「怖いがん、怖くないがん、その治療」
秋森 豊一(幡多けんみん病院 外科部長)

参加費 無料、どなたでも参加できます

【問い合わせ先】

幡多けんみん病院(経営企画課)
☎0880(66)2222
(市)保健介護課
☎(34)1823

平成24年度分の国民健康保険税が 年金から「仮徴収」されます

「仮徴収」とは、世帯主が受給する4月、6月、8月の年金から、あらかじめ天引きすることにより国民健康保険税を納付していただく制度です。

■仮徴収の対象となる世帯

国民健康保険に加入している世帯のうち、加入者全員が4月1日時点で65歳以上75歳未満であり、次の(1)から(4)の全てに該当する場合。
ただし、世帯主が国保に加入していない世帯は除きます。
(1) 世帯主が年額18万円以上の年金を受給している場合
(2) 世帯主が介護保険料の特別徴収の対象者である場合
(3) 国保税と介護保険料の合計額が年金額の2分の1を超えない場合
(4) 口座振替への納付方法変更申し出をしてない場合

◆新たに平成24年度より仮徴収となる人

前年度国保税額の6分の1を、1回あたりの額として仮徴収します。
また、新規の対象者には仮徴収額決定通知書を送付します。

◆すでに年金から天引きされている人

原則として、平成24年2月に年金から天引きした税額と同額を、1回あたりの額として仮徴収します。

なお、四十万十市国民健康保険税は毎年7月に決定するので、新年度の決定税額から仮徴収分を差し引いた残りの税額を、10月、12月、翌年2月の3回に分けて年金から天引き(本徴収)します。

※「年金天引き」と「口座振替」を選択できます

年金からの天引きを中止して口座振替での納付を希望する人は、別途申請が必要です。

【問い合わせ先】

(本 庁) 税務課 市民税係 ☎(34)11112(直通)
(総合支所) 税務課 西土佐税務分室 ☎(52)11111(代表)

4月	6月	8月	10月	12月	翌年2月
仮徴収	仮徴収	仮徴収	本徴収	本徴収	本徴収



麻しん風しん予防接種を受けましょう

麻しん(はしか)は、空気感染・飛沫感染によっておこる大変感染力が強い病気で、時には重症化し、命にかかわる場合もあります。また、さまざまな重篤な疾患(肺炎、脳炎、中耳炎など)を併発しやすいことも特徴です。

麻しんにかからないようにするためには、予防接種が最も効果的であり、確実に2回の予防接種を受けることにより、麻しんに対する免疫を持続できるものと考えられています。

対象者には個別に通知をしますので、体調の良いときにできるだけ早く受託医療機関で予防接種を受けてください。接種料金は無料です。

対 象 者		接種期間
1期	1歳～2歳未満(誕生日の前々日まで)	1歳になる前に個別通知をします。 ※1歳になったらできるだけ早く接種をしましょう。
2期	小学校就学前の幼児(H18.4.2～H19.4.1生)	平成24年4月1日 ↓ 平成25年3月31日 ※毎年春から夏にかけて麻しんの流行がみられますので、早めに接種をしましょう。
3期※	中学1年生相当年齢(H11.4.2～H12.4.1生)	
4期※	高校3年生相当年齢(H6.4.2～H7.4.1生)	

※平成20年度から5年間に限ります。

【問い合わせ先】(本庁)保健介護課 ☎(34)1115 (総合支所)保健課 ☎(52)1132

公共下水道平成24年度 供用開始区域

皆さまのご協力をいただき下水道区域拡張工事が、角崎、中村丸の内、中村桜町、中村本町2丁目、右山、中村一条通2丁目の区域の一部で完成しました。

本年4月1日から下水道を利用できます。

区域の詳細については、都市整備課で縦覧できます。

合併浄化槽設置補助事業

市では、生活環境の改善を図るため、合併浄化槽の設置につき一律30万円の補助を行っています。補助についての条件、手続きなど、詳しいことは左記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

(本 庁) 都市整備課 下水道係 ☎(34)6129
(総合支所) 地域企画課 地域振興係 ☎(52)11111



ねんきんだより

学生には「学生納付特例制度」

があります！

日本国内に住むすべての人は、20歳になった時から国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務付けられています。が、学生については、申請により保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。

《対象者》

大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校等※1に在学する20歳以上の学生で、学生本人の前年の所得が118万円以下※2の人（平成23年度の所得基準）

※1：夜間・定時制課程や通信制課程も含まれます。

※2：扶養親族等がある場合や社会保険料控除等がある場合は、その数や金額に応じた額が加算されます。

詳しくは幡多年金事務所へお問い合わせください。

《承認期間》 平成24年4月～平成25年3月

《承認を受けた期間は…》

学生納付特例を受けた期間は、将来受ける年金の受給資格期間に算入されますが、年金額に

は反映されません。

※学生納付特例を受けた期間の保険料は、10年以内であれば納付（追納）が可能です。（ただし、承認を受けた年度から起算して、3年度目以降に追納する場合には、当時の保険料に一定の加算額が上乗せされます）

《申請手続き》

幡多年金事務所および本庁市民課・総合支所西土佐市民国保分室で、早めに申請してください。

申請は毎年度必要です（前年度に承認を受けていた人も、引き続き学生の場合は再度申請が必要です）。申請が遅くなると、万が一の時に障害基礎年金等が受けられなくなる場合がありますのでご注意ください。

申請に必要なもの

年金手帳、学生証の写しまたは在学証明書、印鑑（本人署名の場合は不要）など

※前年度に学生納付特例の申請をした人で、申請書に卒業予定年月日を記入し、本年度も引き続き在学中の人については、日本年金機構から申請ハガキが送付され、簡単な記入で申請することができます。

問い合わせ先

幡多年金事務所（中村東町2丁目4-10）

☎（34）1616

☎（34）1113

（本 庁）市民課 市民係

☎（52）1111

（総合支所）市民課 西土佐市民国保分室

後期高齢者医療保険料に

ついてのお知らせ

■保険料の納め忘れはありませんか？

後期高齢者医療制度では、被保険者それぞれの人に保険料が賦課されています。保険料に未納のある人には督促状や催告書が送付されています。

納め忘れのある人は、至急納付をお願いします。

■平成24年度後期高齢者医療保険料の仮徴収が始まります

◎新たに「年金からの天引き」が始まる人
左記の3つの要件をすべて満たしている人

- ・平成23年6月25日から10月2日までに資格を取得した
- ・年金が年額18万円以上で、介護保険料と合わせた保険料額が年金額の2分の1以下
- ・口座振替への納付方法変更申し出をしていない

※4月支給分の年金から天引きが始まる人には、4月2日に通知書を発送しています。

◎現在「年金からの天引き」となっている人

原則として平成24年2月の年金から天引きした金額と同じ金額を、平成24年度の保険料の仮徴収分として、4月、6月、8月に特別徴収（年金天引き）で納めるようになります。

【問い合わせ先】

（本 庁）市民課 国保係

☎（34）1114

（総合支所）市民課 西土佐市民国保分室

☎（52）1111

介護保険関係運営委員 募集

幅広く市民の皆さまからのご意見等を求めるために被保険者の中から、「四十万十市高齢者福祉計画・四十万十市介護保険事業計画運営協議会」、「四十万十市地域密着型サービス運営委員会」等を兼ねる委員を募集します。

●役割(内容)

①「四十万十市高齢者福祉計画・四十万十市介護保険事業計画運営協議会」の運営委員
介護保険制度の円滑な運営のため、「四十万十市高齢者福祉計画・四十万十市介護保険事業計画」の進捗管理や見直しおよび介護保険の運営に関する重要事項について協議する。

②「四十万十市地域密着型サービス運営委員会」の運営委員
地域密着型サービスの適正な運営を確保するため、地域密着型サービスの指定や質の確保および運営評価に関する事項について協議する。

③「四十万十市地域包括支援センター運営協議会」の運営委員
地域包括支援センターの円滑かつ適正な運営の評価に関する事項について協議する。

任期 ①および②：平成25年2月28日まで
③：平成24年6月1日から3年間

●募集人数 1人

●身分 四十万十市非常勤職員特別職

●資格

平成24年4月1日現在65歳以上で、市内に居住し、介護保険事業等に関心を持っている人。また、年に2〜3回程度(いずれも平日昼間)開催する会議に出席できる人。

●申込方法

本庁保健介護課および総合支所保健課に備え付けの申込用紙(自己推薦内容等記入)に必要事項を記入のうえ提出してください。

●提出期限 5月1日(火)まで

●選考 提出された申込用紙の自己推薦文の内容等を考慮し選考します。(5月下旬頃予定)

【問い合わせ・申込先】

(本庁)保健介護課 長寿介護係 ☎(34)1165
(総合支所)保健課 保健係 ☎(52)1132

介護予防講座

シニアすこやか温水トレーニング

市では介護予防講座「シニアすこやか温水トレーニング」の参加者を募集します。

この講座は、膝や腰への負担が少ない水中運動で、筋力を鍛え柔軟性を向上させると共に楽しく温水プールでトレーニングすることにより、介護状態になることを予防することが目的です。

期 間 【前期】5月〜9月
【後期】10月〜2月

時 間 12時15分〜13時15分(受付：11時30分〜)

場 所 市立温水プール
コース/定員

・毎週月曜コース(全15回)/30人
・毎週金曜コース(全15回)/30人

※申込者が定員を上回る場合は、この講座を受講したことのない人を優先します。

運動内容 水中ストレッチ、水中ウォーキング、アクアビクスなど

対象者 65歳以上の四十万十市民で介護保険要介護認定を受けていない人

※持病のある人は事前にかかりつけ医師にプールで運動していいか確認してください。

講師 (財)四十万十市体育協会所属の水泳指導者
参加料 無料(プール入場料も無料)

受付期間 4月11日(水)〜25日(水)

※実施期間終了後、半年に1回体力測定及び健康チェックを行います。

【問い合わせ・申込先】

(財)四十万十市体育協会事務局 ☎(34)2071

【23年度後期参加者の測定データ(平均値)】

測定項目	参加前	参加後	評 価
前屈 (cm)	12.1	13.6	個人差はありますが、23年度の講座では、握力についてはあまり成果は見られませんが、脚力・腹筋など下半身の体力維持については成果が現れています。
握力[右] (kg)	30.5	27.2	
握力[左] (kg)	28.7	24.8	
脚力 (回)	31.3	32.7	これらの向上は日常生活での転倒防止等に役立っていると考えられます。
腹筋 (回)	17.5	21.2	
片足立ち (秒)	61.3	55.4	

こんにちは

四万十市地域子育て支援センター“ぽっぽ”

です！

子育ては、なにかとストレスがたまりがちなもの。家に閉じこもりがちになったり、育児に自信がもてなくなったりしていませんか。四万十市地域子育て支援センター“ぽっぽ”は、子育て真最中のお母さんやお父さん、ご家族の子育てを支援するための施設です。親同士、子ども同士が親しみ、触れ合う小さな出会いの場としてご利用ください。



子育て支援センターはこんな活動を行っています



親子ふれあい活動

◇ 1・2・3歳児対象

(平成20年・21年・22年4月から翌年3月に生まれたお子さん)
簡単なおもちゃを作ったり、リズム遊びや園庭遊びなどを
して親子で楽しめます。

毎週1回程度 9:30～11:30

◇ ぴよちゃんクラブ

対象:妊婦さんと0歳児(平成23年4月以降に生まれたお子さん)
簡単なおもちゃを作ったり、親子のふれあい遊びを楽しめます。

毎月1回程度 9:30～11:30

フリーデー

活動を行っていない日の午前中(9:30～12:00)と、毎日午後
(13:30～16:30)も開所しています。子どもさんの、生活リズム
を考えながらご利用ください。

子育て相談

◇ 電話相談・来所相談

子育てについて日頃思っていること、悩んでいることなど
気軽に相談ください。

毎週月曜日～金曜日 9:30～11:30、13:30～16:30

☆毎月第3木曜日は家庭相談員による相談を行っています。
9:30～11:30

※活動がある日の午前中は、相談に応じられない場合もあり
ます。ご了承ください。

利用できる人

子育て支援センターの活動・利用は、市内在住で保育所や幼
稚園に通っていない就学前の乳幼児とその保護者、家族を対
象としています。なお、平成20年3月以前に生まれたお子さん
についてはフリーデーのご利用をお願いします。



親子ふれあい活動

0・1・2・3歳児対象

はじめましてよろしくね！

1年間仲良く過ごすお友だちと顔合わせ。みんなで手遊びを
したり、歌をうたって楽しく過ごしましょう♪

時 4月19日(木) 9:30～11:30

場 子育て支援センター

ぽっぽで遊ぼう ①②③ ※日程ごとに①②③グループに分かれます。

グループのお友だちと“ぽっぽ”のお庭やおもちゃで遊ぼ
うね！手作りの名札を作ったり、自己紹介もするよ。

時 ①4月24日(火)、②26日(木)、③27日(金)

9:30～11:30

場 子育て支援センター

なかよく遊ぼう ①②③

手作りおもちゃやままごとコーナーで仲良く遊ぼうね。お
外にはブランコやすべりだいもあるよ！

時 ①5月7日(月)、②8日(火)、③10日(木)

9:30～11:30

場 子育て支援センター



その他の活動

ぴよちゃんクラブ (はじめましてよろしくね！)

1年間仲良く過ごすお友だちと顔合わせ。みんなで手遊びを
したり、歌をうたって楽しく過ごしましょう♪

時 4月20日(金) 9:30～11:30

場 子育て支援センター

お願い

参加を希望される人は、準備等の都合がありますので、あ
らかじめご連絡ください(活動内容によっては、ご遠慮をお
願いする場合もあります)。なお、それぞれの活動については、
1グループ20組程度に分かれての活動となりますのでご了
承ください。

駐車場は、少しスペースが狭く10数台しか置けませんの
で、奥の方からつめて置いていただくようお願いします。



問い合わせ先



四万十市地域子育て支援センター“ぽっぽ”

右山元町1丁目2-10 ☎(35)3748

交通事故被害者の家庭を

サポートします

独立行政法人自動車事故対策機構で
は、交通事故被害者の家庭に対して育
成資金の貸し付けや、介護料の支給を
行っています。

育成資金の貸し付けは、自動車事故が
原因で保護者を亡くしたり、重度の後遺
障害を残すことになった生活困窮家庭
の児童(中学生以下)に、義務教育修了ま
での経済的助けを行う制度です。

また、介護料は、自動車事故が原因で
重度の後遺障害者となり、介護が必要
となった人に支給されます。

【育成資金貸付額】

・一時金 ……15万5千円
・入学支度金…4万4千円
・月額 ……2万円

【介護料支給(月額)】

・重度後遺障害の程度によって月額
3万円から13万円まで支給額は異
なります。

【問い合わせ先】

独立行政法人自動車事故対策機構
(高知市南ノ丸町5-17 高知県
トラック会館内)

☎088(831)1817

四万十市体験型観光受入研究会だより 先進地視察

3月13日(火)～15日(木)、体験観光の先進地である長崎県小値賀町の「おちかアイランドツーリズム」と大分県別府市の「ハットウ・オンパク」の視察が行われ、当研究会の土居敬会長を含む幡多地域の観光関係者が参加して、実際の民泊体験、まちあるき体験を行いました。

これは、幡多地域ならではの観光資源や各種体験など、着地型旅行商品の提供者と、旅行者や旅行会社をワンストップでつなぐシステム作りを進めている「四万十・足摺エリア(幡多地域)観光圏協議会」の主催によるものです。

小値賀町は、もともと一次産業が中心で観光地ではなかったにもかかわらず、島全体を売り出すための取り組みに成功して、今や全国的にも観光地として有名になり、民泊体験の受入が進んでいます。

また、別府市は温泉を観光資源に民間事業者が中心となって事業展開し、滞在型・体験型観光の推進に成功し、この取り組み方法が日本全国に広がりを見せています。

この視察を通じて、土居会長か



ガイドから小値賀島の神嶋神社について説明を受けるメンバー

ら「どの地域においても地域住民がこよなく地元を愛し、誇りを持つていて、自分たちの地域を何とかするんだ」という熱い想いもあった。またその話している時に目を輝やかせて話している姿が特に印象強かった。私たちの住む四万十市、ならびに幡多地域も、とても自然や人情の豊かな地域なので、これからも自信と誇りを持ちつつ、新しいことへチャレンジしていく気持ちも必要だと感じた」との感想をいただきました。

【問い合わせ先】四万十市体験型観光受入研究会事務局(観光課) ☎(34) 1783

心豊かに食する

～管理栄養士からのメッセージ～



【材料5人分】

文旦 ……………250g
粉ゼラチン ……………5g
はちみつ ……………大さじ3
水……………250cc

栄養成分【1人分】

エネルギー:61kcal 脂 質:0.1g
たんぱく質:1.3g 食物繊維:0.5g

文旦のビタミンジェル

■ 高知県ではおなじみの土佐文旦、ほろ苦くてさっぱりした甘さが特徴です。皮をはぎながらついばくばく…気づいたら1個なくなっていた、ということもしばしば。

ビタミンCやミネラルを多く含み、風邪予防に効果があるのはもちろんのこと、話題のGABA(ギャバ)も含まれているので、血圧高めの人や中性脂肪が気になる人、お肌が乾燥しがちな人にも食べてもらいたいかんきつ類です。

- 作り方
- ①文旦は皮をはいで種を除き、実だけにします
 - ②ゼラチンを水少量(分量外)でふやかしておきます。
 - ③水を火にかけ、はちみつを溶かしてからゼラチンを加えて混ぜ、別容器に移して粗熱を取ります。
 - ④文旦の実をほぐしながら③に加えて混ぜ合わせ、冷蔵庫で冷やし固めます。ふるふるに固まったらざっと混ぜていただきます。

※お急ぎなら冷凍庫でもOK、途中何回か混ぜながら1時間ほどでできあがります。水分の抜けた文旦もこうすると美味しくいただけますよ。

文旦をはじめ、果物に多く含まれるペクチンは天然の多糖類で、ゼリー化(ゲル化)作用があります。果物を糖分と一緒に煮詰めてジャムができるのはこのペクチンの働きによるものです。

ペクチンは私たちの身体に取りこまれると、食物繊維としての働きをします。食物繊維を十分にとって腸の働きをととのえることは、有害物質を体外に出して健康を維持することに大きく効果があります。

日頃から、果物や野菜をしっかり取るよう心がけるといいでしょう。

(四万十市福祉事務所 保育所係 橋田典子)

郷土資料館からのお願い

資料館では、今年度には特別展として、地震、台風、水害などに関する企画展を計画しています。自然災害の写真や資料等をお持ちの人は下記までお知らせください。

【問い合わせ・連絡先】市立郷土資料館 ☎(35) 4096

四万十市ふるさと応援団員からの便り

秋水のふるさとを訪ねて



秋澤チズ(写真中)

千葉市
昭和14年生

佐藤栄(写真右)

東京都墨田区
昭和19年生

1月24日、101年目になる幸徳秋水の墓前祭に参加をさせていただきました。小雪の舞い上がるなか、正福寺の境内で墓前祭が何十年も前から行なわれてきたことを知り、感無量でした。

式の最後、呼びかけていただき、ちよつと躊躇しましたが、思い切って献花することができてほっとしました。この場面がテレビで放映され、よい思い出になりました。

私ども姉妹の祖母(ルイ、朝子)は秋水の最初の妻でした。祖母は秋水に離縁をされ、福島に帰されたあと、祖父と再婚し、父を生みました。

私どもはおばあさんと東京でずっと一緒に暮らしておりましたので、その仕事をよく覚えております。

本をよく読み、作法もキチンとする人で、両手を重ねる時は手のひらを上にして合ませます。手の甲の皺を相手に見せないためです。家の中では常に凛として、そつがありませんでした。また、大きな声は出さない人で、外にもあまり出ませんでした。

おばあさんは昭和48年、当時としては長寿の92歳で亡くなりましたが、私どもはおばあさんから父(昭和33年死

去)からも秋水のことは聞いておりませんでした。昭和57年、新聞報道をされて初めて知り、驚きました。いま考えると、おばあさんはどうして秋水にたった1年で離縁をされたのかと思います。

中村には一度は訪ねたいと前々から思っておりましたが、なかなか踏ん切りがつかず、またチャンスもなく、情報も乏しい状況でした。

この度は、私の同級生の木原恵美子さん(広島県三原市、写真左)が情報をくれ、誘われたのがきっかけです。初めは木原さんと姉のチズで行くつもりでしたが、妹栄も行ききたいというので3人で行くことになりました。

中村駅に着いた時は「やっと来た」と喜びを感じました。南国土佐で雪に合おうとは思いませんでした。でも、あまり寒さは感じず、住みよい町のようにです。

中村では本当に予想もつかない出逢いが多く感動しました。秋水の生家跡を訪ねようにも場所がわからず、数人の方にお伺いしました。すると一人の年配の女性がそこまで案内をしてくださり、その後自宅でコーヒーを出して接待もしてくださいました。

ちようど夕方私たちも汲々としておりまして、このコーヒーの美味しさには感激でした。なんと素敵なお方なのだろうと思いを残して失礼しました。

四万十の風景が頭に焼きついており、またお伺いしたい気持ちにさらされています。これがご縁でこれからもお付き合いをお願い申し上げます。

四万十市の皆様、心からのおもてなし、ありがとうございます。

叛逆者の妻となりしも一年余

世をはばかりひっそりと暮らす

秋水のお墓の前の 薄氷

栄

図書館新着図書紹介

渋谷雅之著

『樋口真吉日記(上)』

著者は、中土佐町久礼の出身で、元徳島大学薬学部教授。

個人出版による「近世土佐の人物」を紹介していくシリーズの第6巻をこのほど刊行。

幡多勤皇党の首領として土佐の維新史を語るに避けて通ることのできない樋口真吉の若い頃、大石神影流の剣術修業時代から40歳までの砲術の専門家として活躍する時期の日記を集めています。

特に巻頭では、著者が先日発見した樋口真吉の2枚目の写真について述べられています。

坂本龍馬の才能をいち早く見抜いていた慧眼の人物としても知られており、歴史的にも近年再評価の光が当てられています。



樋口真吉日記(上)

(318ページ、著者発行)

第9回 四万十川ラジコン水上フェスタ



世界唯一のラジコン水上機の大会で、全国から参加者が集まって、自慢のテクニクを競い合います。
また、子供たちも楽しめるように、紙飛行機大会などのイベントも行います。

日時 4月21日(土) 9時～16時
22日(日) 9時～15時

場所 四万十川ボートコース(鍋島)

問 (社) 四万十市観光協会 ☎(35) 4171

市営住宅入居者募集

住宅名ほか 有岡団地共同住宅A・6号室(2階)

所在地 有岡1675

構造 耐火構造2階建

間取り 6畳×2、4.5畳×1

DK、WC、浴室、物置

建築年 平成2年度

家賃 15100円から

※入居世帯の所得額により異なります

入居資格

- ・単身の場合は、昭和31年4月1日以前に出生した人
- ・住宅に困窮していること
- ・所得に制限があります

※詳細についてはお問い合わせください
希望者が多数の場合は抽選となります

募集案内 (市) 財政課まで

受付期間 4月9日(月)～20日(金)

入居予定 6月下旬

問 申 (市) 財政課 管財契約係 ☎(34) 6120

働く婦人の家講座「和裁」

日程 5月7日～8月20日の間で7月16日を除く毎週月曜日(全15回)

時間 19時～21時30分

※講師の都合により日程が変更になる場合があるのでご了承ください。

講座場 中島京子 働く婦人の家2階和室

対象 市内に居住または勤務する女性

定員 10人

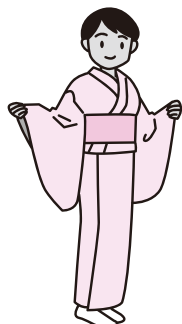
受講料 無料

用意するもの ゆかた反物(綿、糸、針、ヘラ、チャコ、ものさし(クジラサシ))

申込期間 4月18日(水)～

申込方法 本人に限り窓口・電話で受付(9時～17時15分)

※定員になり次第締め切り



問 申 働く婦人の家 ☎(34) 6299

催し

情報掲示板

しまんと



防犯メモ

還付金詐欺に注意しましょう

今年に入り、高知県内で医療費の還付金詐欺が発生しています。

■手口

市役所や社会保険事務所の担当者を名乗り、「通知書が届いていませんか？」などと電話をかけてきて、言葉巧みにATMに誘導し、操作を指示して相手の口座に振り込ませます。

■対策

不審な電話があった場合は、一人では判断せず、家族や警察などに相談するとともに、必ず事実を確認してください。

■その他

高額な被害も発生しています。ATMを操作して、還付金が振り込まれることは絶対にありません。

今後、同種事案の発生が予想されますので、十分に注意してください。

【問い合わせ先】

中村地区地域安全協会
(中村警察署内) ☎(34) 0110

教室・講座

23年度の市税の

納め忘れはありませんか。

今一度お確かめください。



奥屋内天然色堂「山茶つみ体験」

奥屋内上地区の住民グループ「かじや村の若衆会」主催のイベントです。
この地区に自生する山茶を摘んで、煎って揉んでのお茶づくり体験。午後は、黒尊流域の木々を使ったマイ箸づくり体験や天然大杉のある黒尊神社への散策も行います。

お昼は、はがまで炊いたご飯、山菜のちらし寿司と天ぷら、しし汁、かじやの酢じし、シカ肉串焼きなど、地元食材たっぷりの田舎料理で奥屋内のおばちゃん、おんちゃんたちが真心をこめたおもてなしをご用意します。

日時 5月12日(土) 10時～15時

※雨天決行。一部内容を変更させていただく場合があります。(雨具をご用意ください)

集合場所 奥屋内上公民館

募集人数 30人

参加費

大人 3千円

小学生 1千5百円

小学生未満 無料

※保険料・昼食代込み

申込締切 5月10日(木)



口屋内大橋から15km(約20分)
四万十市街から35km(約50分)
須崎ICから 115km(約140分)

問 申 西土佐体感ツーリズム事務局「山間屋」
☎(31)6474 FAX(31)6475

空き店舗対策事業費補助制度

中心市街地内の空き店舗を活用して新規創業や事業拡大等を行う人に対して、店舗改装費の一部を助成します。補助対象経費は店舗改装費で、補助限度額は1件あたり37万5千円です。

主な要件

- ① 高知県の空き店舗対策事業を申請して補助金交付対象となること。(市補助金より先に県の交付申請手続きを行う必要があります。県補助率は補助対象経費の1/2以内で補助上限額は100万円です)
- ② 昼間営業を行うこと。(夜間営業のみは対象外)
- ③ 空き店舗が属する商店街からの推薦を受けられること(推薦状が提出書類に必要です)

問 (市)商工課 ☎(34)1126

第14回 竹屋敷あめごまつり

日時 4月22日(日)
※河川増水時は4月29日(日)
場所 旧竹屋敷小中学校および周辺
内容 旧竹屋敷小中学校および周辺

・あめご釣り
・あめごつかみどり(幼児・小学生対象)
・土佐中村一太鼓
・マジック、大正琴の演奏
・他に飲食・物産コーナーもあります。

参加料

・あめご釣り(エサ代込み)
大人:3千円、中学生以下:1千円
・あめごつかみどり
幼児:無料、小学生:5百円



問 竹屋敷活性化協議会
昼:☎090-8697-4299 夜:☎(32)1852

平成24年度 いきいきクラブ会員募集

四万十市スポーツ推進委員会では、皆さんが健康でいきいきとした生活が送れるよう、「楽しい人生は健康から」をテーマに「いきいきクラブ」を開催します。
体力は年齢とともに落ちてきます。体力を維持するには、運動を続けることが大切です。
ダンスやゲームなどをしながら、楽しく運動をしてみませんか。

期間 平成24年5月7日(月)～平成25年3月中旬(8月、1月は休み)
日程 毎週月曜日(祝日除く) 13時30分～15時30分
時間 13時30分～15時30分
場所 安並スポーツセンターほか
内容 準備運動

・ダンスやゲームなど
・仲間と楽しみながら体力をつけていきます。
・ミステリーツアー
・郊外に出て、ウォーキングをします。
※スポーツ推進委員会が手伝います。
募集期間 4月5日(木)～26日(木)
定員 70人(先着順)
参加料 無料

※ただしスポーツ安全保険料が必要です。
64歳以下:1850円、
65歳以上:10000円
(平成25年3月31日まで有効)

申込方法 下記まで直接もしくは電話でお申し込みください。

問 申 (市)教育委員会 社会体育課(安並スポーツセンター内) ☎(34)2071

定期相談所

相談

	日 時	場 所	相談内容	問い合わせ先
行政相談所	4月20日(金) 13時～16時	社会福祉センター	国や県、市の仕事に対する苦情や要望 《相談委員》武田二三生 ☎(35)6414 正木 卓夫 ☎(37)2560	(本庁)総務課 ☎(34)1804
無料農業経営相談	4月26日(木)	JA高知はた 本所 3階	農業に関する借入相談、経営全般に関 するお悩みなどの相談(要事前予約)	日本政策金融公庫 高知支店 農林水産事業 ☎ 088(825)1091

初心者弓道教室

教室・講座

弓道は腕・胸などの上半身だけでなく、脚・腰と全身の筋肉を使うスポーツです。練習を積むことで、姿勢や歩き方が良くなる。集中力がつき、健康に良いなど弓の効用が実感できます。

この機会に弓道に親しんでみませんか。

期 間 6月4日(月)～7月5日(木)
毎週 月・木曜日の10回

場 所 安並運動公園弓道場(藤柳館)

参加料 1500円(保険料含む)
※6月4日の開講式に集めます。

対象者 一般(学生は除く)

定 員 30人

※運動のできる服装(ソックス必要)でお越しください。

※参加申し込みが少数の場合は教室を中止することがあります。

受付期間 4月10日(火)～5月15日(火) 9時～17時

主 催 高知県弓道連盟幡多支部

問 申 (財)四万十市体育協会(安並スポーツセンター内)
☎(34)2071

スポーツ吹矢教室

スポーツ吹矢は、運動効果だけではなく、精神集中や血行促進・細胞の活性化にも役立ち、内臓の諸器官にもよい影響を与えます。

ゲーム感覚で楽しみながら、健康アップを目指しましょう。

日 時 5月13日、20日、27日(各日曜日、全3回)
14時～16時

場 所 市民スポーツセンター 武道場

講 師 和田浩一
(高知県スポーツ吹矢協会土佐清水支部)

対象者 年齢不問

※運動のできる軽装、室内シューズをご用意ください。
(用具は用意します)

定 員 先着20人

参加料 500円(マウスピース代含む)

受付期間 4月10日(火)～5月10日(木)

申込方法 電話でお申し込みください。

問 申 (財)四万十市体育協会(安並スポーツセンター内)
☎(34)2071

不動産無料相談

相談

(社)高知県宅建協会の専任相談員が、不動産、住まいに関するあらゆるご相談にお応えします。

日 時 4月18日(水) 13時～16時

場 所 市立中央公民館 3階
小会議室II

問 (社)高知県宅建物取引業協会
☎ 088(823)2001

初心者卓球教室

教室・講座

気軽に楽しめるスポーツの代表種目である卓球。基礎、練習方法から指導する初心者の教室です。

期 間 平成24年4月3日(火)～
平成25年3月26日(火)
毎週火曜日

場 所 安並スポーツセンター・卓球場

対象者 小学生～大人

定 員 15人

※運動のできる軽装、室内シューズをご用意ください。(ラケットの無い人も歓迎します)

講 師 中山典夫(幡多卓球協会会長)

会 費 1千円/月

使用料 大人:150円/回
高校生:70円/回
小中学生:50円/回

スポーツ安全保険料
大人:1850円 小人:800円

※保険期間:
加入日～平成25年3月31日

受付期間 4月2日(月)から随時

申込方法 電話でも受付します。

問 申 (財)四万十市体育協会(安並スポーツセンター内)
☎(34)2071

■幡多公設地方卸売市場のホームページができました

<http://www.hata-ichiba.com/> (市公式ホームページのトップページからもリンクしています)

オートキャンプ場とまろっと リニューアル

オートキャンプ場とまろっとでは、雨の日でも安心して泊まれるキャビン（小屋）の人氣が年々、上昇傾向にあります。

このたびお客さまのニーズにお応えして、今まで17棟あったキャビンを、22棟に増築しました。

また身障者用シャワー棟も新築し、古くなったテングローサイト、展望台も取り替え、リニューアルしました。

遠方から帰省したご家族、親戚の方の宿泊利用にも低料金でおすすめです。

料金 1泊4人まで1万円（1人につき追加料金1千円で6人まで）

予約方法 電話で申し込みください



問 申 オートキャンプ場とまろっと ☎(33)0101

国際交流員 靳淑敏です

また会いましょう

鯉のぼりが勢いよく泳いでいる時期に四十万川が初めて目に映り、早くもまたお雛様が見える頃になりました。もう少しゆつくりして来てほしいとひそかに思っていましたのに。光陰矢のごとし。

2011年4月13日にJETプロگرامオリエンテーションに初参加し、その日にもらったJET手帳はもうすぐいっぱいになります。手帳の扉には以下のような言葉が書いてあります。「合わせ聞けば明るく、偏り信ずれば暗い」。即ち限られてるメディア報道を鵜呑みにしてしまうと、どうしてもその情報が『ステレオタイプ』になりがちで、外国の事柄を正しく認識するためには、多方向から見ることが不可欠である。「国際交流員システムは個人と個人のつながりから国際協力へと導き、異文化や新しい考え方に会えることで視野が広がり、一国と国々との絆が深められる」。

皆さんはこの1年間、国際理解についてどんな思いがありましたでしょうか。私にとつて、この1年間は勤務時間に普段の生活や行事参加と相まって、温かい思い出と熱い思い出が溢れる1年間でした。

着いた当初は温度的に高くはなく、肌寒い初春でした。東日本大震災から1ヵ月ちょっと過ぎた頃で空いていた商品棚がしょっちゅう見えましたが、ニュースや新聞には落ち着きや励

ましがあっても、決して気落ちする画面がありませんでした。復興・復旧は終始貫くキーワードです。四十万市では義捐金募集活動や寄付の場面が毎日のように見えて、「子供を見に行く旅行代金を全て寄付します」などの話が耳にして涙が出るほど心温かく感じました。



名鹿にて

温度計の赤い糸が徐々に背伸びして、待ちに待った中国語講座と学校訪問、そして団体訪問で中国の事情を紹介したりして交流する場が多く設けられました。学校訪問で中国から来ている男の子に会いました。彼は日本語ができませんでしたが、責任感のある先生たちと優しいクラスメートの助けに恵まれて、1学期で授業参加ができるようになってきたのです。すくすくに成長しているその姿こそ、両国の友好が咲かせた花ではありませんか。

7月の雨がやんで8月は無事に市民祭本番を迎え、その勢いでよさこい祭り

でも踊ってきました。皆とのふれ合いから根付いている地域文化をこの身で体験し、地元の人々の明るさと物事に身を投げ込む姿がきらきらして見えました。人々の心の中に宿っている巨大な力がお祭りの中で一気にほとばしり出てマダマのようでした。熱い思い出はそれだけではありません。10月には友好都市の中国安徽省亳州市友好訪問団が来て、表敬訪問と熱烈な歓迎会のほか、視察先で地域の実業者や市民たちと情熱溢れる懇談ができました。時間がかかるかもしれませんが、更なる友好交流や経済提携につながることを期待しています。

初雪をクリスマス前の時期に迎えてからすぐ日本風のお正月になり、2012年——日中国交正常化40周年の記念すべき年がやってきました。文化理解と経済提携、民間と政治の交流が盛んに行われる1年になります。遠いところから四十万市を見守ることになりませんが、順風満帆に発展していくことを祈ります。

54週間は長そうでも短いです。そして、早すぎます。さようならをいうのが苦手なので、大好きな四十万川、四十万市の家族の皆さんに再会するのを楽しみにします。

素敵な1年間を本当にありがとうございました。市民の皆さん、どうぞ末永くご健康とご多幸でありますようお願いいたします。

トンボ公園 自然満喫「学遊館クラブ」発足



トンボ自然公園では、この春から四万十川学遊館年間パスポートをご利用くださっている皆さんを対象に、メダカすくいやフナ釣り、クリ拾いなど、公園の豊かで安全な環境を活用した自然体験を提供する「学遊館クラブ」を、月1回のペースで実施していきます。問い合わせ、申し込みは、下記までご連絡ください。

問 申 四万十川学遊館 ☎(37)4111

土佐一條公家行列 「藤祭り」行列参加者募集

春の観光シーズンを彩るイベントとして、小京都中村の歴史にちなんだ衣装で延べ170人が市内を練り歩きます。それぞれ役職に応じた色とりどりの衣装を身にまとい、行列に参加しませんか。

開催日 5月3日(木・祝)
場所 一條神社から市の中心市街地を巡るルート
募集人員 130人
対象者 小学生、大人
申込締切 4月20日(金)

土佐一條公家行列「藤祭り」実行委員会事務局
(中村商工会議所内)
☎(34)4333 (担当:福留・井口)

5月～9月 各種スポーツ大会 (市体育施設利用)

皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひご覧ください。(日程が変更になる場合があります)

期 日	大 会 名	会 場
5/6(日)	軟式野球国体幡多予選大会	四万十スタジアム
5/6(日)～20(日)	幡多地区春季スポーツ大会	運動広場他
5/12(土)・13(日)	中央区中学校球技大会	安並アリーナ他
5/20(日)	四万十市体育協会長杯軟式野球大会	四万十スタジアム
5/27(日)	ミカサ杯ソフトバレーボール大会	安並アリーナ
6/3(日)	高松宮賜杯軟式野球1部予選大会	四万十スタジアム
"	フジカップ家庭婦人バレーボール大会	安並アリーナ
6/9(土)・10(日)	中学校県総体幡多予選大会	安並アリーナ他
6/17(日)	四万十市体育協会長杯バドミントン大会	安並アリーナ
7/1(日)	家庭婦人バレーボール夏季大会	安並アリーナ
7/8(日)	中村クリニック杯9人制女子バレーボール大会	具同体育センター
7/14(土)	枚方体育協会交歓球技大会	安並アリーナ他
7/21(土)	高知ファイティングドックス公式戦	四万十スタジアム
7/22(日)	四万十市体育協会長杯ソフトバレーボール大会	安並アリーナ
"	四万十市体育協会長杯ミックスバレーボール大会	具同体育センター
8/18(土)・19(日)	幡多信用金庫理事長杯小学生野球大会	四万十スタジアム他
8/19(日)	幡多総合武道大会	安並アリーナ
8/26(日)	幡多地区体育会(卓球大会)	安並アリーナ
9/2(日)	幡多地区球技大会	運動広場
"	高知県家庭婦人バレーボールいそじ大会	安並アリーナ他
"	スカッシュバレーボール大会	具同体育センター
9/8(土)・9(日)	県高等学校バレーボール夏季大会	安並アリーナ
9/15(土)	高知ファイティングドックス公式戦	四万十スタジアム
9/29(土)・30(日)	幡多地区中学校新人野球大会	四万十スタジアム

【問い合わせ先】(財)四万十市体育協会(市民スポーツセンター内) ☎(34)2071

市民のひろば

お知らせ

四万十茶屋 オープンイベント

岩間沈下橋が見晴らせるスポットに直販休憩所が4月13日にオープンします。それを記念してイベントを開催しますので、皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。



完成した四万十茶屋(岩間沈下橋左岸側)

日時 4月22日(日) 10時～15時
場所 岩間沈下橋斜め手前の国道沿いの広場
アトラクション

・ハヤンボ釣り大会(受付:10時～) 先着20人に道具を用意します。竹からマイ竿を作ることできます。賞品あり。

・西土佐子供太鼓「一番星」(13時～) もちつき、つきたてもち試食
・地元の料理試食コーナー

※小雨決行。ただし荒天時には中止する場合がありますのでお問い合わせください。

【主催・問い合わせ先】

岩間四万十茶屋運営委員会

☎(54)1511

携帯 080-6384-1011

(投稿者:滝石典子)



(平成24・2・6～平成24・3・5届分)
住所 赤ちゃん 保護者

(平成24・2・6～平成24・3・5届分)
住所 氏名 享年



中村丸の内 中脇 陽菜 ひな	中村丸の内 浦田 藤野 藤野
右 山 稲田 健晟 けんせい	中村京町 南 照一 照一
右 山 田邊 凜 りん	中村一条通 山崎 保恵 保恵
右山天神町 沖本 翔夢 しょうま	右山元町 溝渕 恭敬 恭敬
中 村 松本 心結 みゆ	中丸の内 東 清加 清加
安 並 永山 斗優真 とうま	右 山 井上 タケ子 タケ子
秋 田 那須 龍心 りゅうしん	佐 岡 増田 覺 覺
古津賀 中野 和花 わか	古津賀 吉尾 初美 初美
古津賀 渙本 蒼也 そうや	古津賀 田村 信子 信子
具 同 坂下 怜音 れん	具 同 宮野 政則 政則
渡 川 久武 暖明 ぬあき	具 同 渡邊 妃 妃
具同田黒 坪田 愛梨 あいり	具 同 清水 並子 並子
赤松町 今村 心咲 みさき	有 岡 今西 義繁 義繁
有 岡 勝瀬 樟一 しょういち	楠 島 藤原 包吉 包吉
伊才原 水田 優心 ゆうしん	山 崎 岡本 矢野 八榮 八榮
岩 田 威能 享昌 きょうすけ	井 沢 岡田 忠子 忠子
西土佐江川崎 沖本 虹湖 にこ	井 甲 寺田 昭夫 昭夫
	井 池上 玉子 玉子
	匠平 英明 芽依 伸彦 征史 靖史 功典 賢一 隼也 純三 剛 真和 真吾 竜也 友和 智洋 周司
92 82 68 69 73 69 78 78 82 92 91 81 65 79 88 75 84 86 98 65 86 85 86 89 89 93	92 82 68 69 73 69 78 78 82 92 91 81 65 79 88 75 84 86 98 65 86 85 86 89 89 93

土地価格等・家屋価格等縦覧帳簿をご覧ください

場 所 (本 庁)税務課 資産税係
(総合支所)税務課 西土佐税務分室
期 間 4月2日(月)～5月31日(木)
縦覧できる人
土地・家屋の固定資産税納税者、委任状持参者、納税管理人
※手数料は無料です
【問い合わせ先】
(本 庁)税務課 資産税係 ☎(35)4428
(総合支所)税務課 西土佐税務分室 ☎(52)1111

「お誕生おめでとう」、「ご冥福をお祈りします」のコーナーへの掲載については、ご家族の希望を聞いて掲載することとしています。
掲載を希望される場合は、
(本庁)市民課 ☎(34)1113
まで必ずご連絡ください。

佐 田 戸梶 一郎 一郎	佐 田 佐田 道恵 道恵
西土佐藤ノ川 芝 直之介 直之介	西土佐江川崎 尾崎 正己 正己
西土佐用井 畦地 有 有	西土佐用井 永澤 利彦 利彦
70 53 62 85 95 84	

人が人らしく

★人権さまざま★ 84

寒さがひとしおだった、この季節にも、少しずつ春が近づく気配です。街にでると真新しい制服を身につけた少年少女の、誇らしげな表情に出合っ、唇もついほころんできます。本人の希望通りの進学ができたのでしようか。それぞれがこれからの幸せをぜひ勝ち取ってほしいものと念じています。

私にも、制服に憧れた時代がありました。金色の七つボタン、桜と錨がデザインされた予科練と呼ばれた若き飛行士の服装でした。また、見習士官とよばれた軍服姿や菱形の角帽をかぶった大学生にも、胸をときめかせたものでした。

いつかあの人達のように、さっそうと胸を張って歩き、世のため人のために命をかける人になりたいと思ったものです。制服にはいつの時代にもどこの国にあっても人の心を揺さぶるものがあるようです。
アメリカでは、軍服(制服)を礼賛する風潮が九・一一テロ以後に特別に増えてきたと、昨年のニューヨーク・タイムズに掲載されています。
「ベトナム戦争に敗北し、アフガニスタン戦の泥沼化などで傷ついた帝国の面目を取り戻すには「ヒーロー」が求められてい

る。「戦士」「英雄」「使命」「勇敢なる若い男女」……などの言葉を使いたがる傾向があるのではないかと、論文の著者ウイリアム・デレシュークスは書いています。
制服というものには(中でも軍服には)ヒーローの要素が多分に込められているように思います。
勇敢さと無私の心、勇ましくて意気高く、漫画やアクション映画を見ようような雰囲気をもっています。戦火から少女を助け出した海兵隊員、井戸から子供を救い出した警官、ハドソン川に巧みに着陸し乗客の命を救ったサレンバーク機長の見事さ……あの制服やユニフォームの眩しさは感動をよびました。
でも、いつか見たあの世界大戦のニュース映画、雨の国立競技場に数千の学生たちが、制服に銃を担がされ軍靴をそろえてびしょ濡れで行進した姿は今も涙と共に思い出します。
ヒーローの必要はない。みんなが普通の人になってほしい、そう願いながら、街の若者たちの背を目で追ったことでした。

四万十市人権啓発講師
山本 衛

日直指定水道業者

●水道料金は口座振替で●

4月 7日(土)	㈲カキタニ設備	☎(33) 0660
8日(日)	岡崎プロパン㈱	☎(35) 3458
14日(土)	㈲夕部設備	☎(37) 3383
15日(日)	西南管工	☎(36) 2554
21日(土)	㈱奥宮工業	☎(37) 5151
22日(日)	㈲大同設備	☎(35) 4879
28日(土)	㈲石井建設	☎(33) 0404
29日(日)	㈲山下建設	☎(33) 0653
30日(月)	豚座建設㈱	☎(34) 6031
5月 3日(木)	㈲平野水道	☎(35) 2316
4日(金)	溝渕設備	☎(34) 3734
5日(土)	森下住宅器機	☎(34) 4855
6日(日)	土居水道工事店	☎(32) 1095
12日(土)	中村水道工事センター	☎(35) 4323
13日(日)	㈱中村住設	☎(34) 3621

水道の使用を開始・中止するときは…

引っ越しなどで水道の使用を開始、中止または使用者の名義を変更するときは、事前に下記までご連絡をお願いします。

【問い合わせ・連絡先】

(本 庁)水 道 課 ☎(34)1711
(総合支所)産業建設課 ☎(52)1111

当 直 医

※当番については変更になる場合がありますので、各医療機関へ事前に電話でお問い合わせください。

4月 8日(日)	さくらクリニック	☎(35) 2555
15日(日)	市民病院	☎(34) 2126
22日(日)	佐々木整形外科	☎(34) 7177
29日(日)	森下病院	☎(34) 2030
30日(月)	正木整形外科	☎(34) 5252
5月 3日(木)	幡多病院	☎(34) 6211
4日(金)	吉井病院	☎(34) 5005
5日(土)	竹本病院	☎(35) 4151
6日(日)	市民病院	☎(34) 2126
13日(日)	山下整形外科	☎(34) 0511

図書館だより

★ストーリーテリングおはなし会★
4/23(土)5/12(土)の2回、子どもの読書週間「に合わせた関連行事として「ストーリーテリングおはなし会」をします。「ストーリーテリング」とは、絵本やほかの道具を使わず、語り手が昔話などのおはなしを語ることです。べつとひきこまれるおはなしの世界を感じてみませんか？
日 時 4月22日(日) 10時30分～11時
場 所 市立図書館お話の部屋
対 象 4歳以上
※申込不要。途中からは入れないことがあるので、時間に遅れないようにおいでください。
(問)市立図書館 ☎(35)2923

★休館日の案内★

4月 9日(月)	定 休
16日(月)	定 休
23日(月)	定 休
30日(月)	定 休
5月 7日(土)	定 休
14日(土)	定 休
21日(土)	定 休
28日(土)	定 休
5月 4日(木)	憲 法 日
11日(木)	こ どもの 日
18日(木)	み ぎ 日
25日(木)	こ どもの 日
31日(金)	こ どもの 日

人のうごき ～2月末日現在～ ()内は、前月との差

総人口	36,057人(－21)	転入	71人
男	17,022人(－6)	転出	63人
女	19,035人(－15)	出生	19人
世帯数	16,309戸(+1)	死亡	48人

4月

今月の統計調査

調査員は顔写真つきの調査員証を携帯しています。調査員が訪問した際にはご確認ください。

調 査 名	調 査 該 当 地 区	実 施 状 況
家計調査	右山元町2～3丁目、駅前町、一条通3～5丁目	実施中
家計消費状況調査	不明 ※国主管の調査のため該当地区の詳細は不明です	実施中
労働力調査	東町1丁目、三ツ又 楠島	実施中 準備調査中
毎月勤労統計調査(二種)	西土佐	実施中
個人企業経済調査	中村東町、中村於東町、中村新町、中村一条通、中村大橋通	実施中

【問い合わせ先】

(県)総務部 統計課 ☎ 088(823)9344

編集後記

自分が広報の編集に携わるようになってから、早くも2年目が過ぎようとしています。毎月、市外の家族に広報を送っていますが、この欄に自分の名前がなかったときは、必ずといっていいほど「今月は後記書いていなかったね。異動した？」という電話がかかります。4月は異動のシーズンですが、自分にとりあえず現状のままのようです。この1年も、より皆さまに親しまれるような紙面づくりを目指していきたいと思っています。(誉也)

開館時間 9:00～18:00

平成24年
4
April

はじめての機械設計
検証「大震災」
降霊会の夜
残念な日々
少女は卒業しない
動物と分かちあう人生
PK
ブータン王室はなぜこんなに愛されるのか
岡村 大(三里出身)
毎日新聞「震災検証」取材班
浅田 次郎
ディミトリ・フェルフルスト
朝井 リョウ
エリザベス・オリバー
伊坂 幸太郎
田中 敏恵

4月の新着図書(406冊)

オスカー・ビル 上下
ケイン・クロニクル 1
震災が教えてくれたこと
スティーブ・ジョブズの生き方
せんをたどって がっこうへいこう
とうさんとぼくと風のたび
東北んめえもんのうた
ゆめのスカイツリー
エリ・アンダーソン
リック・リオーダン
今野 公美子
カレン・ブルーメンタール
ローラ・ユンクヴィスト
小林 豊
長谷川 義史
accototo(あつことと)

児童書／えほん

「広報四万十」5月号は5月2日(水)発送予定です